

東叡文庫

吉記

同 兼安二年四月
同 三年八月
同 四年三月
同 八月九月

一



庫	文	閣	内
一	一	八	和
六	一	〇	書
二	冊	六	類
架		號	

内閣文庫	
番號	和 8806
冊數	6 (1)
函號	161 92



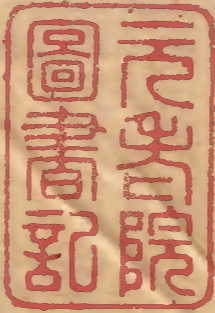
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





吉

記

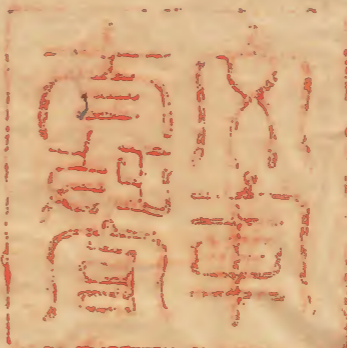
同 義安二年三月八月九月
義安三年七月

吉御記

元曆二年五月



Handwritten text in a vertical strip, including the characters '御上' (Gojo) at the bottom.



吉

記

同 義安二年三月八月九月

Faint blue ink markings and characters, including '記' and '同'.



吉記

同 三年 七月
兼安二年 四月

第一

吉記
同 四年 八月
兼安二年 八月

平座之事 復任除目之事 院所受戒之事
舞所覽事 平野祭 松尾祭上二奉行之事
梅宮祭上野并奉向事 所會事 吉田祭事
乃所方違行奉于法任寺殿事
月以祭式日依神祇官職定川之事 并神今食事

兼安二年

兼安二四一 右中并

東嶽山開山堂

傳聞今日平座如例源大納言藤大納言九兵衛督等奉仕
右坏酌一献少納言信孝二献少納言兼光

今日有復任除目上卿新中納言藏人官奉行

權大納言藤成親左女史大江威景候理少進中原頼基進江

守菅原在任左近權少將藤成頼兼右馬允中原頼弘

房州注送云院所受戒事別當可行每日事於山上接

案可奉行 為人奉行未得其心

藏之文庫以報四恩
進言以開為教嚴誦

今日內有舞所覽舞人着袈裟裝束九二人頼實朝臣

時在三人隆房雅賢等細長公子舞萬歲樂地久壽平
樂古島蕨賀殿林等龍王於御殿南庭有六事以公
將按察使苑山院中細等假許前殿下地座席中
九日甲申平野祭也上御中出中細云權在中并未奉行
松尾祭也在少辨光雅奉行

十日乙酉陰晴不定今日梅宮祭也上在室相中將左少
并未奉向

藏人次官基親送綸旨其狀云

水行多佳色以心為

右領來十三日於御書所可彼披緋凝風晴之福未
治者依天氣執事如件

四月十日

勅解出官平基親

詳上右中辨啟

不芳雖之復氣未及出仕仍雖福參中進請文

十三日戊子天晴今日吉當祭也新室相悉勉作被隨神態

予不配也依不芳不亦左廿年系光奉仕

今夜月所書所作文也題先日任有

文人

殿上人

予依不芳不亦又頼安朝長中障日不亦

左中將雅長卿

右中將通親卿

頭詳長方卿袖着

左中將重方卿

右中將隆言卿

左中將有房卿

通資卿權在并親宗卿

右衛門佐光長着其衣

藏人安并兼光藏人安并光雅藏人勘解由官基親藏人

左衛門尉能成

儒士并文章生

文章博士敦周卿

教位敦周卿

左宮大進光經卿

大外記業實

大監物守光

教位在茂

教位光甫

宮内少輔親經

左河守尹範

秀才長守

文章博士光範卿兼任不呈請退出是敦周乃上

福憤怨之故也

衆五人

藤原光 同明宗 同光敏 同信明 菅忠親

十九日甲午晴今夜行幸法住寺殿為御方違下依廿
幼之不忝右廿將雅賢卿執鈴奏

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

右所記目錄

義安三年

七月

一日依神祇官儀式行大般若事 二日夜勝寺所八誦法事

御経供養事 夕座事

行香事 殿上人取布施事

三日法勝寺所八誦始事

并下立兩事 云御着座并相次着座事 始行事并直參御事 行香事 夕座事

無惣礼事 不波右南都僧事

六日被行月次參事 或日延引事

神今食事

六日多武峯炎上事

八日依多武峯燒失波遣殿下家司事

自八日至十日家司紀在之

九日新堂障子繪事

十日修塲遷宮之事。正細之意。仍不可在仕事。

十一日新堂繪事。十三日奏新堂事。

可書額
人事
御願文
願作者

十四日奏新堂障子繪事。障子繪本。文作永範。江長光朝臣。

令勅申事

障子以下事。

十五日院中洗車。新堂南柱懸支事。

十九日發下波立之社奉幣使事。

兼安三年

七月

右所記抄出

兼安三年

七月

一日壬辰天霽

依神祇官波大後事

今日依神祇官職。更有大按。奏議。遷系。左女。糸。魚。

先行之事

寂勝寺中八講法願事

二日。美。已。後。晴。不足。及。未。冠。系。寂勝寺。今日。所。八。講。

法願也。公。歸。新。源。中。納。言。宰相。中。將。左。大。弁。新。宰相。大。

戴。兵。部。木。系。入。講。筵。如。例。於。座。講。師。曰。金。志。慎。者。

所經供養事

夕座事

貞覺次夕座僧徒引列所經供養如例次論義論

師觀智傍都問者兼禪次有以香云濕六人殿上

人刑劫心類捕前河內寺資恭亦胡臣列之次例時

殿上人取布施事
次賜布施殿上人亦取之中斜事年繼素退出

法勝寺御八講事

三日甲午陰晴不定雨脚時深今日法勝寺御八講

也仍辰魁系入先令催違系僧徒等既已刻有

亦幸云鄉五條中細言別當新源中細言院中細言

右邊門督宰相中將新宰相左善信智欣理大夫亦殿

上人太京大吏備範烟臣已下世餘輩供養入御之

公台着座并相次着座事

間別當親信通感亦胡臣自御車懷余降立南廊

東御當東南次入御之後公卿着座余相次着座次

始行事亦直奏聞事

上卿良余被問及具否申具之由被示可奏之由仍

系御不直奏之被作始之由次作上卿使被作鐘

預元

余後座右頃作之次威儀師覺後卒諸傍系上着

座以講師章實講師榮禪先着礼盤礼佛次畢

高座次威儀師擊磬次堂童子着座左方前上

總分基捕豐後守賴臣在方散位師廣盛定喫

間分苑若次散苑行道次收苑若次講師表白威

儀師取出淨經安誦師前次趣經次論義問者融

覺次擊磬次威儀師羌兒願 權僧正

行幸事 三禮 已誦行舞 次行香公卿八人列之 右邊門皆一人不列之假所不 藏人

夕座事 行房取大會相隨次夕座同朔但僧徒自腹系着之

立惣礼事 又立惣礼儀師澄愿僧都問者千運 寺 事訖還淨次

余返出

不古波南經僧事 今年依衆徒更不古東大興福兩寺僧次天名宗徒

昔問答定之其例次於之論宗者猶可波石乞

之由能奏聞尚不被石乞

五日丙申天霽 法勝寺淨八講事亦畢是

今日被行月次祭式日依神祇官職延引上口源大

細言 系後可尋少細言信季石女并親宗亦行之

入夜被行神今食上歸中御門中細言系親新寧相

少細言信季石女并親宗亦行之

六日丁酉陰晴不足

都督淡云南都衆徒去月廿六日燒掃多武峯之

時於淨教堂并十三重塔者不燒之由衆徒違所

使日別陣之由得日猶令燒一疑殆相違事一之同

多武峯炎上事

被行月次祭式日延引事

神今食事

廿八日良藤中納言資氏於那親亦有議定奉_左
一日以家司兵部大輔那親為行使為實換達之有
去_左右并一取單也於所執志奉取出_{云々}
可奉渡便直_{云々}由彼位合_一去_二日夜半時歸
洛同日於殿下又有議定及納言戶部都督系
入_{云々}未_一日可被奉移便直_{云々}之由有汝法胡
親中云尚彼奉之處有舍化_元燒失堂塔_元其基
詔許之款回_子細無人_{云々}相逢尋法方之間信侶兩
三事遍以出來_{云々}此可然者_{云々}其後隨_{云々}延兼望月

聖靈堂十三重塔_{云々}此尋所執_{云々}後中云興福
寺傍款奉_{云々}深以奉隱不可_{云々}知僮僕一身可
奉見之由依相觸率彼傍一身奉昇_{云々}遙嶺石屋_{云々}
との振如款_{云々}其取奉隱所執_{云々}讀中若文退_{云々}
雖可奉渡便直_{云々}更_{云々}可從役者又取_{云々}張之堂舍_{云々}
二形也其名中守觀音置然_{云々}盡四壁皆以_{云々}教_{云々}燒掃之_{云々}
追捕之故也仍定以_{云々}歸洛_{云々}轉_{云々}之_{云々}既_{云々}短_{云々}策_{云々}難_{云々}及
雖不可備後_{云々}鑑_{云々}担_{云々}化_{云々}之_{云々}重_{云々}可_{云々}尋_{云々}注_{云々}誠_{云々}希_{云々}代_{云々}事_{云々}也_{云々}永_{云々}保
天仁雖有此事_{云々}於塔_{云々}毀_{云々}并_{云々}所_{云々}執_{云々}堂_{云々}者_{云々}不_{云々}燒_{云々}失_{云々}

未代事不能方衣由京僧燒所新堂拓過入送者次

長親化殿下家司信乃格守此自八日至十八日

依多武峯燒失被遺殿下家司事
兼安三年七月

八日晴依不方久不出仕之處依息速元系殿下作

多武峯至靈院并堂舍寶塔為南京大衆之燒失

之間所尊躰之牽出岳深山中由剛食款無極雖

頃造管假殿奉渡出木石於山中多送教日所

深多思不吹仍來十一日所躰可令奉移燒殘

堂涉中寺給也且是唯天仁之例之而期日近下之

上等僧一人無之率尔遷所是雖逐放長親家

司也又為殿中之古者早系殊廻秘計招出寺僧亦

無事可奉渡者長親中云哀老之上所勞未葉常

之間峻路遠行艱難時假相勵系向可汝法誠假重

作思食計被作之處於不方之系向之條返

神寶被也伴所裝束亦姑伴寶亦能之調進所依

無日教直被作直殿等同之尊沙法由成長不持

之注文見之處首兼塵大幕是道亦無之仍中更

由今書入等又所供步敷二帖之調具送由神舍

成長年梓雖不彼如神寶不於茲涼夜遊之彼調
去之奉彼調所裝束之時為其不於細工所全惟
如何中上之處充可然之由有作仍其旨作成長又
宗定未工亦多相具明且可未細工之旨良作也
九日晴未明所蒙編亦令長造成長梓年今日月
之編出斷之宗定工亦相具未先帳代茶演床亦之
急造明日十日相具之系向之左之相本樽亦成長
汝法明日運上人丈亦人之并法成守
內施茶院亦彼良之

十日幸之陰雨降成長亦送之所裝束料才沙法
具只今不悉之御蒙并置差亦不可儲之即下知
可石儲由手長親相具帳代演床假殿修理料才工
亦手刻出京家時款入南京宿之處今款大眾
殊群發京下人不令佳還亦不能欲入立入梓川
追小屋全逼之間七旬暮齡者殆雖追冥路内存聖
靈之冥忠外誇我君之殊作大略如奇身奔僕徒
亦類雖新不及力
十一日晴入南京雖令尊去夕儲未系亦不能相傳

今系向之間件儲取逢道也。僕徒工亦令食之未起
穿禁欲攀登之處為崇大衆之亂入或伐塞大木
或搆戒深堀雖人跡不通相搆系上之處無人寂
寞非不及言諸適入為燒殘之房舍殊迴攝之
秘計尋出少之傍從先彼之遷所之寺更令
尋向之處申云件寺即指所願之上奉守護之
華無便一徑從者徑藏者後二系殿所願云
奉守護之間云勒紳事之便旁之巨由依中之後
亦不之加見知之疑如寺傍申所以彼不之議定

但亦不中守相遠之系雖取之其恐不能申上而
時在限遷所因之不可定列之及之隨後更可計
洪法之由在系之時蒙作平令夕儲之以不見
系墳雜岸上其儲闕如甚以難掩

十二日晴着衣冠良具工亦早且系經藏先帳之

之次才所裝束亦令魏衣之令立帳代之後亦所

立帳代之後工守供人不入事

不用工亦化人不之入之依有恐也良出十禪師
亦不令役也所殿前路次之仍作寺家令極垣又
以行內桂遠候衆殿長其行之行事也亦裝束

早院領亦長向云遷所之後依例而供所供机
所臺所膳具亦彼取出或如何若不允亦可何樣
事以預亦中云皆燒早仍檢換以下而指之議之作
工亦不隨亦之料亦亦向本候机六脚今遠在早氏
不臨時依無他之計 累之加之今度此亦又議支
省略依率亦之爰自京兵部大輔 胡奉彼作言
依相高所物忘今日遷所延引一未十六日可催
其間每事在之汝法儲意懈忘之遂以此旨依
寺家一又所供亦各持由一未十六日未別懼可持

系之由名作
十日晴令巡檢燒而之龜悲淚難抑而行不御之
日依日次不宣指亦再支度亦不汝法始
十日晴相^元伴寺傍良具工亦系向燒而始自所
殿兼十三重塔德堂鐘樓經藏才紀之指亦也但
或所殿路依有其思以工不之少丈人長出院領十保
師亦金步之作以指亦支度亦去十二日兩日者遷
所之法不違他爰昨日出會明日又遷所之石
不方有他爰明日後日之上洛也今日因欲終其

知之處乃教十已字之乃案榆景暮光眼珠暗
無舉燧之方法仍怒改爲房一十
十日丙午晴着衣冠系經苑每事沙法儀令
相待之處未冠在文所使家司
前中誓女補系着
為侶
歸着未事波系經苑面前日來沙法之執令法
中之處且波成款且波在悅又波中云若文所
為躰手源山乃中仁奉藏礼留藏字改_テ移字
可成之由不波作_レ也仍長親摺彼字_テ今書移
字早此後今夕可供奉_レ十禪師院領小儀字

之由_レ尋古家之處宿院系一依保未系_レ
仍頻_レ身之此間日景漸暮在時已陳出_レ牙
更小_レ催促之處先所殿東向書戶左右各
大幕一帳訂_レ之_テ中_レ筵道敷_レ次_レ殊大幕_レ口_レ帖
筵道未尊躰所座_レ而_レ十禪師院領小儀身_レ今系
一教魁之後僧一人在末_レ已_レ所_レ動_レ度_レ以_レ
仍女補長親下座經藏之心庭_レ警_レ躡音_レ通_レ已_レ以_レ遷
所為_レ侶_レ長_レ親_レ但_レ頭_レ合_レ掌_レ散_レ盡_レ餘_レ執_レ之_レ奉_レ春_レ日
東向_レ書_レ戶_レ教_レ魁_レ今_レ奉_レ鎮_レ居_レ早_レ之_レ由_レ十_レ禪_レ師_レ一_レ

出中之少為保長親昇殿令着座換授以下

僧亦同以着座俗北次令御供供次中令供身由次家

司下坐所殿前庭北西指笏再拜讀告文讀

讀告文事

之後後笏俛拜自本路後本座告文身

講演事

身家一少講演救魁論讀之後講師下高座

奏儲事

次家司退汝后保長親回前柝家司既自任古

以降無憾急之處乞度無之乃未時系着之後

始從自身至于僕徒但無事甚以不便仍何樣

所事身令尊申之處彼申云此能不始乞必有

汝治夏之通例也其年系向之附九系夫進奉行

仰之外明彼汝治之南京云當崇令彼無憾急無

支度乞系之際埃雖崇上未魁以後云院更而

仰天失方之闡之扁乞僧未曾闡之由之御尊身

御尊身不白此事

遷所問事知舊例之十禪師院願亦奉令身

之處中云先所稱之白地元不奉向也轉之

問之乎乞度遷所之道元此條少不

後也三奉昇事

審之由乞身之鬼答云南奉向後七三奉昇之

是秘事乞身

十六日晴陰晦、雨下不上、流之今夕、須眉南氣、
鬼大泉、冰心霧、由有其間、由至治之一、病今
日、幸遲出、僕從亦一人、不來、著

十七日霧、早旦、入治、龍眼、日不來、著、事、之
相待、る、源、更入、治、亦不來、殿、下

十八日晴、系、殿、下、日、未、汝、治、次、身、今、漢、達、之、處、所
威、氣、無、極、是、水、他、并、身、命、振、老、骨、致、沙、治、之、
此、次

十九日庚子、胡、蘭、其、雨、留、降、辰、冠、系、院、奏、所、堂、雜、事

所堂障子繪事

七條、其中、所、堂、障子、繪、之、紋、書、法、苑、經、傳、依、并
地、獄、之、類、全、不、之、憚、由、有、之、原

十日、奉、世、天、雲、砂、系、陰、葵、條、之、事

又、申、云、修、務、遷、文、行、更、不、細、工、別、夾、各、在、急、行、所、堂、更

至、行、彼、於、之、波、除、之、重、急、光、中、作、之、並、沙、右、忠、智

不、之、名、仕、之、由、之、不、知

十二日、又、行、天、晴、右、餘、勢、熱、年、冠、系、院、系、院、元、而、後、所

新、所、堂、予、進、案、中、所、障子、繪、事、亦、作、之、所、堂、之、内、所、不

并、左、右、廊、之、畫、亦、八、品、也、於、別、所、亦、不、之、畫、年、野

新所堂繪事

修務遷官行事取不可見仕新所堂元事

并為野所奉也。作常懸源二光者先紙形。

と出代中作行事登帳。一

十三日甲辰天晴辰魁系院奉所堂夏小。村本海吾事 作悉う使死

十餘枚合用意之田頭忠 法印中申作早可進之田諸又波作云所堂障子繪法記經事

劫出要文うを土代と也。作觀智信都。

廿日辛亥天霽早系院執奏所堂雜事。

一 所供養儀う返田勝寺例。大治三年 秋事 三月廿二日

一行奉向事申云。所堂供養雜波用田勝寺例。

遂于行事者波用他例う宜と。永久二年五月

廿九日蓮花藏院供養白河院所願鳥羽院行

幸う波返彼例次作云。尤う犹存之旨可波

汝法。

一 の書總人夏申云。法勝寺伊房口尊勝寺

堀河左府寂勝と下。法性と入道源云。作

右府。今度むら波さく由内儀昨日中宮權大吏 被申入申元 廿院所方 記正町思案

一 所願文兄願木作者事。中慶一例

一 作所願文水範口兄願文俊隆朝臣可宜款

殿上廊障子繪夏申云。波書書文う宜と。作云

障子繪本所作水範口長光朝臣と勅申夏

永範口長光元羽後ホウケ劫申

一 御簾夏作云御陸國所下用錦依帽額控

一 若者幡行事云御作爲陸方物上云云

一 若うの義麗云御心思食云

一 度々御願依養文出自御念云彼擇去云

一 御云云此云早元擇云ホ作中文云更侍

一 所堂東山云彼返東事申云云彼並云早可

一 有汝治也作云彼汝治云此云作平火網言

院女院 院同 車 所別當柱懸事

廿一日壬子雨辰魁院女院院同有御幸別當口桂
懸多迫来被損加修造彼を所下云口中高權
右史殿上人親信物長以下七八輩系入出車
三由每事省界云

廿九日庚申為下傳聞今日殿下彼云三社奉幣
使依多武奉事也

春日 大日比光範 大原野

皇宮權大進 光輔

吉田 敬信 季子 有

若文右大布俊經物長草之皇右為大正光

長奉行云

身兼此...

在月記以一本板了

弘化四年六月廿三日

Vertical handwritten text in cursive script, likely a diary or journal entry, covering the right page.

永安四年二月

吉御記

兼安四年

二月二月

端文

Vertical handwritten text in cursive script, likely a diary or journal entry, covering the left page.

二月三日
兼安四年

兼安四年二月

東所身不敷式又長押上有差蓮
長弘花尤可敷弘蓮之由而相也
廻沙原風長押 下指沙大橫大盤所
庭沙菓子 此合 八指沙菓子
庭中障子 以東乃云御座 敷所序鋪菓子
上人座 敷此高踏 此外所 小對木菓子 不徒菓子
院年預大宮權定 法意作 不 庭庭庭

對子所雜具

火橫 沙不 掌燈 出火 仕不 萱物對子 沙不 沙樂子 吹燈

庭道 掃地 沙淨風 法合 東京苗 列細不 菓子 紫清

燈臺 廿本沙格棚火橫 椽 手洗 炭灰

敷沙 已上年預門外 掃除 撥水遠使 誰役輩 法日官人西元 或人所

六日美完晴曉報李任之辰後泰院巡檢行幸比裝本李任之辰借奉

燈日侍以下少房或去夜或半夜未入次予率伴御宿

人多幸仕左殿系鶴鳴行幸着沙公卿平左細之

新大用之系中細之列高中文授交新奉中右奉

相中將宰相平之後未借奉殿下智山車之危位治平大

納言御言御奏事由次入沙自中門之下沙西宰右中右

叙重先入沙之休息所內為差入頂之予退出

後俄不見及

今日有閑雞啼夕之并院廿院出回紅之條奉

名播孝院之

行幸留系右後左大系賢網右中右多右出

王上見行幸後

七日甲子晴年刻系院之日未小盡有兜所才奉

教樂未醫王丸依作乞武志年王上有敏覽云心

系中細言使列高末帶卷憫苑山院中細京雅

殿上人為衛府志專警衛名儀法前大衛門控依

親宗平胡孫予當征復後退未獲非遠使所

高修房仲執未着布衣平丸如何師多可若布

修心... 中... 法... 心... 法... 心... 法... 心...

今夜仍余遊談也。自中門學所。與... 志... 志...

八日乙丑入夜。為... 辰... 刻... 奏... 系... 事... 中... 蓮...

右... 門... 香... 彼... 中... 心... 柱... 本... 德... 難... 得... 也... 已... 據... 得...

中... 形... 之... 月... 中... 部... 寫... 之... 元... 又... 來... 月... 之... 可... 遠... 仍...

事... 是... 兩... 可... 快... 也... 未... 已... 月... 許... 之... 宜... 然... 但... 可... 隨... 所... 定...

忘... 作... 法... 不... 可... 忘... 未... 已... 月... 可... 宜... 早... 下... 為... 日... 次... 不... 以...

外... 事... 不... 違... 記... 畫... 皆... 從... 惟... 後... 近... 不... 忘... 而... 中... 刻... 著... 衣...

冠... 向... 皇... 左... 右... 官... 控... 左... 吏... 亨... 教... 別... 慈... 慈... 義... 燭... 之... 後... 衆...

法... 勝... 寺... 之... 教... 寺... 行... 堂... 欣... 二... 日... 也... 先... 是... 信... 法... 系... 集... 若...

座... 板... 敷... 上... 后... 床... 若... 西... 傍... 德... 東... 九... 信... 上... 鄉... 不... 可... 系... 入... 之... 中... 書... 札... 忽... 以... 到...

未... 益... 波... 妙... 之... 自... 之... 波... 僅... 他... 人... 之... 心... 以... 後... 是... 也... 仍...

且... 始... 不... 迴... 金... 口... 依... 不... 作... 隨... 之... 物... 數... 等... 所... 信... 信... 慈...

并... 切... 尊... 所... 獨... 唱... 凡... 衆... 所... 次... 博... 阿... 弥... 施... 經... 以... 大... 尊... 所...

修... 二... 月... 終... 以... 法... 布... 施... 大... 尊... 所... 料... 法... 也... 少... 細... 之... 修... 應... 記... 在...

修... 二... 月... 終... 以... 法... 布... 施... 大... 尊... 所... 料... 法... 也... 少... 細... 之... 修... 應... 記... 在...

修... 二... 月... 終... 以... 法... 布... 施... 大... 尊... 所... 料... 法... 也... 少... 細... 之... 修... 應... 記... 在...

修... 二... 月... 終... 以... 法... 布... 施... 大... 尊... 所... 料... 法... 也... 少... 細... 之... 修... 應... 記... 在...

修... 二... 月... 終... 以... 法... 布... 施... 大... 尊... 所... 料... 法... 也... 少... 細... 之... 修... 應... 記... 在...

修... 二... 月... 終... 以... 法... 布... 施... 大... 尊... 所... 料... 法... 也... 少... 細... 之... 修... 應... 記... 在...

最物以類少捕定示形自余院殿上人於身於
今秋七人所系入也仙變請僧急毫僧於不其人
系仕之獨那能那冥之法務一人能收自余不亦
尤以弄性之身也下知身影之化也松系入
彼六位六位為之輩系上史不見事之緇素正也
國釋出少三日圓釋神祭也上卿左夫并右中忠系方朔
之祚殿前皮類仙之後全奉波用燈之兩儀依
不可少南門敷上卿已少性亦化權之儀築垣亦如
為洪防之化路之間上卿已下門入涉之之時波記

序之希有事也

在指定後院二月半身自院沙事

九日丙寅際夕而下之日亦務光院修二月也仍中刻

系彼院寺家奉仕堂莊嚴之儀如常但此壇之

列物馬出壇警勞供辰嘉冬以壇上良立輪

炮已上新洞之系前札并備壇供辭佛面間之也

障子之系之札盤之南之服札之山之盤基迫母尾

少板之敷之札一脚迫日南柱之楊枝札已上東西之南

之香水机以白生指裏南又底心身一間除東南角間為

法皇御座以同身二間為女院御座以同身三間為女房

假所

法皇御座如平御所供養北下惟
女院御座如平御所供養北下

東院南身一間敷重高

番敷二枚力列為法親王法親王御座以同身一間為西

折傍御座敷二枚高番敷為清傍御座東院南身二枚
西院東身二枚

西院御座敷二枚高番敷二枚為凡傍御座西院南身一

間敷高番敷一枚南御座為上御座御座敷二枚為凡傍御座西院南身一

番敷二枚為公卿御座西院北身一間敷高番敷一枚為

殿上人御座二間傍東敷日傍力御座御座敷二枚為凡傍御座

傍西敷同身力御座三十一枚御座敷二枚為凡傍御座

同身力御座同身力御座敷二枚為凡傍御座西院南身

西院立直明障子自御座一二間敷高番敷二枚為凡傍御座

西院東身一間敷高番敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座

傍西敷同身力御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座

御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座

院自御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座

御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座

染集次御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座

御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座御座敷二枚為凡傍御座

法皇御座如平御所供養北下惟
女院御座如平御所供養北下

列南布施云... 法信布施... 已为流例... 奉我但... 编... 全波例... 可算... 還所

請信廿口
法尔賢免
行梅
顯智
觀智
法眼源運
能玄
昌忠
真回
顯超
大法
尊免
實寬
原毫
勝賢
良智
行舞

大正元年 庚午年

十日丁卯 日 西曆今日 大正元年 行水 各除辰刻

本蓬門 泰向先着 行事所 庚午 斜 因侍 另他 泰入

頂 上 佩 系 中 細 云 前近之人 既 交 中 勞 少 補 除 殿 扈 從 若 侍 所 也

泰入 上 佩 披 入 依 為 後 之 紀 注 皆 矣

行事 不 宜 後 上 佩 直 披 為 到 及 次 院 別 尚 大葉 日

着 次 少 外 紀 中 系 乃 清 右 少 史 日 基 總 氏 今 務 少 補

隆 成 及 敷 位 主 成 已 下 同 以 着 座 依 豐 不 足 作 法 自

泰入 并 昇 涉 棚 間 依 人 係 人 較 多 之 后 加 登 長 少

為 儀 可 何 抄 不 更 史 基 總 為 當 月 如 考 史 下 基 總 氏

中 可 為 法 司 先 觸 中 上 佩 陸 皮 命 不 去 為 法 司

中 云 亦 為 做 上 陸 之 之 例 披 解 涉 棚 并 因 係 未 入

時 前 必 屬 晴 中 所 差 情 但 亦 高 時 亦 能 晴 在

供 神 物 涉 棚 高 時 昇 立 廻 廊 志 以 此 為 中 上 佩 登 可

日 晴 先 可 候 着 到 殿 中 有 中 亦 仍 中 上 佩 係

掌 書 院 例 尚 次 一 款 送 酒 司 為 之 至 假 人 甚 矣 我

也 一 人 官 人 代 今 一 人 奉 司 下 於 之 持 下 品 終 着 別

許 也 事 陵 遲 不 及 左 右 在 代 每 交 陸 少 氏 雖 以

為 目 元 不 可 有 臣 酌 款 將 又 以 氏 亦 位 亦 之 勸 元 在

上鄉被後物石加水官一人之役後新

用代官也不可力例次掃於數由下座量大拜

此後序人易表冠之勅中並例水量水次作法官人
視所系上著衣罰被智

下物不及改著又經關事仍懸行涉下次外紀

力清曉下串作法衆人各願次二款計三款亦

著次列尚著到次作和衆
六位二人志度倍業先中

上鄉作法亦如例外紀不中代官依新伊次良久

被續晴可新信中再之彼作法司今交不可以

雖而亦依依之學准晴後與出棚新依中上鄉殊被執之及中斜兩脚淨不晴

手御似細似有操仍上鄉起序先于紀次界涉棚

神殿簷中之社司先敷葉薦之之上之下係

依隆兩脚不以依此微准露儀不推並次上之下著

庭座
依而後敷次內侍系入庭道厚可敷之中林下

知深泥之乃每事忌從防次祝師至殿若座以和奉

崇沙之教不之幣次廻涉之馬先行光件涉之只有以之古之之交之

初亦申之奉教六之也而一之遲急一之暖病更後

次上鄉已下着直舍殿座史同着之社司中之

史是是推以者史是直舍殿座陪為異姓名著直舍殿座有何牌式不之奉慶前

故也予業於少知名文或勸法依榮使或華沙事
弁至予奉幣可有後此但畏姓人難准勝氏人
去日祭之時不可蓋之此後日之中物与物高以事
狀所之者序也次盃酌次如年亦如例事一外祀
境見氣分在返表矣祀不能方祀身思事一沈内
汝河以足溢水之怖畏矣時到著七条名所
今日釋尊也上野堀川中納之忠親系後等中物矣
左大弁實德卿在少弁親宗少納之信孝儒士成光
烟長番入世麻作不忌庭座有宴座既必得其

上古堀川中納之系後加侍之
福記記 序者秀之 光章 海所進破也修成上野
不故加侍之

美分系雜事一少形之所不
十一日戊辰夜晴早 岳院養雜事一八分系法勝寺所
在揚光院 乃事亦也 又他夕 亦更不違筆 端予

蓮花院文庫中納之 蓮花院 信養之時 自蓮花院 乃院文庫 所
少涉步立合 兼日記 十一日 相副本日極返納
信光明院 供養 亦依作部款 相

副列目錄

女院于春沙後事

十二日己巳 際夕有再氣午刻許系院今日是春

門院波竹少度沙後陪陪備花定能知盛 恭通

感較時莫不胡長 役供克長親雅基宗時氣力親家後

亦勤

力親連系 修季暫勤役供

古以 依音左右陪陪役供在三人

十度勤 陪陽師以在忌胡長 大孫持更 恭親德敏

以宜忌品中以用年持物源忌持尸 以季弘未勤信大

文情土業後教後恭茂 大孫女補 恭成權陪陽情至

在宜亦 奉仕湯每陪

在忌胡長依西房中間以 息男多勤

中列 事

殿上人 陪陽師福 人列 長信 王受

殿上人 次陪陽師 未着衣長伴恩良

奉預感較胡長亦備 在少并親宗至典代感藏寫

奉行 予暫程儀 後 正奉

成克胡長未係亦刊儒而中事

十三日庚午 終日而際中刻 系院少侍 便宜奏事雜

蓮院王院少侍 蓮院王院少侍 蓮院王院少侍 蓮院王院少侍 蓮院王院少侍

作 奉中六日可更引 昨日亦尋 在憲胡十 交四月

若以後今日次又月有牌六月去用以若今日未七月

七月八日美乎可直若作云活不可忘件日何事有

三月有也

法後有於外惟非不可概行一壹化能作也

法後有持外惟非可概行一壹化能作也

度亦并系小中快所概矣也仍二壹執行下福持也

後系分三彼作皮蒙真也

下德圖列在也而可完只務老院用進也

下德圖列在也而可完只務老院用進也

仍別也教書送老靜賢法字許涉^庄也

而信也白布百亦二反也

別在百亦也

年別許退也

宿所修替外名之保也意章入來大去日之後与若

必司有長有同沒事

右中忠

依其奉所

在系也少在問法可留帝代也包以連年可高

泰格居事

為果名預泰信格符社補時西舉

新年教書帶少甘和男少波成詳列也

今日新年教書帶也上瑞新大個之奇在少惠親尔

伊勢皇系有詳列外名程男事也少田記成棟草

伊勢 美信王村少社在

石清水

泰後男系瑞

賀茂 泰後男系瑞

杉尾

泰後男系瑞

年中

伊勢皇系瑞

稻荷 若河内守賢泰朝下

春日己下如例

隆通河内傳法灌頂寺在波河内京元

今日令身隆通河内國宗遂傳法灌頂執蓋役新衣三

人定言定款中云持受被傳通衛府一人在傳府元名良

隆通記

兼安四年二月十三日至年於寶壽院有傳法灌頂事

當日堂莊嚴畢敷筵道指外支分亦前敷調送

於敷設紫木者自法定沙法給被傳法觀音院螺

吹鏡持荷與下也衆車法尔門身六六岁之不自

室被催加任所作人下給大沙車長尊中并受者

泰向皮院誦經物誦經文道机先之摩那戒

面刻法信集令之後引列先螺吹次讚衆鏡持相

逆之次持金厨衆次持幡臺左右相分次大河國宗

駕腰輿法受 長保 衛府執蓋十才子持座具草在居名吉爐戒

解官亦左右相分次受者右後着平裝裝持多經次

讚頭鼓音錘碎螺吹鼓吹聲次大河國宗登正西階

入壁代内十才子九幡回入次受者着座妙

浴量次持金厨衆行道三遍畢次教授長惠擬灌

頂引受者入 磬代内 授送 佛法僧也 凡 天 汝 國
 磬代内 磬 夢 唄 所 唱 是 實 修 行 次 滅 瓦 瓦 次 教 瓦 所 立
 于 教 瓦 机 前 唱 教 瓦 次 十 才 子 持 午 洗 水 瓶
 入 磬 代 内 還 却 次 受 者 由 磬 代 着 存 在 次 大 河
 關 緊 日 着 存 次 誦 經 等 行 顯 毫 已 灌 頂 紀 瓦 瓦 凡
 盤 磬 白 半 中 一 發 化 之 間 授 被 物 一 手 次 等 行
 下 礼 盤 着 在 次 大 河 關 緊 并 受 去 由 今 法 僧 還
 却 入 次 初 夜 時 也 衆 着 平 袈 沙 衣 大 河 關 緊 入 國 道
 場 授 引 受 者 日 入 内 道 場 作 法 也 等 次 授 教

時也初教

色衆十二口

法橋兼賢 唄 德

覺明 護 摩

行仁 非 供

大法師長惠

琳琴

惠康

顯毫 已 上 已 灌 頂

賴惠

寬彼 堂 送

寬嚴 敬 瓦

魚信 護 以

禪性 護 以

通對大行奉法橋長等

十

白塔通灌頂事 之後

十日辛未 天陰雨不下全身降通阿闍梨昨日

遂傳法灌頂之日後朝之後也仍辰刻白仁初寺

受壽院是成法不承灌頂修心乃人未集雖不及

底或一談或系所相傳也午刻信院門外

新河闍梨駕腰輿是所禱衣此大河闍梨十身所忌衲衣子

左右相隨持三衣苦香妙善水持幡臺外之砌下十身

子反玉幡授次價次彩阿闍梨十身

昇南階若佛前次持幡列立東階左右次請

僧至亦次授以教音信信之序次兼受

法指於砌下嘆德次新阿闍梨返並次信僧

一序退之彩闍梨降南階徑通中刻及

戒座對大河闍梨座三拜若座次大河闍梨

有受戒觀自丈日以來授全別薩壇以來十九代次彩

阿闍梨若次大河闍梨若在列月步施

大河闍梨

被物七身鐵為一

法服裝束一具

巫室一頤

緇裳二古白布

靴色裝束一具

量裝束二具

錦橫被一披

村濃絹裏二緝

着繪午箱二口

色衆十二口

仿德一口

被物二口

絹裏二色草皮古一

九僧十一口

被物一口

被物一口

裏物一色草皮古一

但已灌頂心人各副是數一

加布繩

所修人

交授灌頂所
嘆德通任等

口名被物一

法服物

十才子六人

各紙三十帖

持幡童二人

若緋布一

醒吹三人

若白布一

鏡持二人

若白布一

兼仕二人

若白布一

荷澳丁二人

若白布一

右行事

彼物一色

善也上表約陸園架粗河人為備後監也

未除人

堀田中細云

忠自云歌被名大河園架

氏戸漏

親

右中弁

信保

懷波少將

時實

前皇右文大臣

光長

本立以

親雄

前皇右文大臣

信國

多助少輔

光保

日白与

定長

高内少輔

棟能

吉房与

定長

官内少輔

親保

光長

親保

光長

親保

光長

親保

諸左史

前大宮左史 盛業

能前 司以政

淡路大左 長保

左与 持物少佐

相模左人 左史 貞光

已上三人を

冬河左人 左史 保保

六位

新院左人 信政

主春門院 左史 保保

已上五人を中隆左人等并目録に記す

執蓋彼

陰奧控寺後葉

氏尸定能受

左各傷尉紀久良

十六日壬申天霖已刻東院右相入道未入徑俵

沙前三味乃不孝父

事申別卷下

女院三味作云上西門後沙東法中定夜務光院理執之時乃以南野西

帝可力上西門院沙而以北同帝可力沙室沙不

乃始平乃志

新編了身事

十六日美酉天陰雨不下鷄鳴出蓬門侍少乃日列

房州及祝友相茶六七少年先齋舞馬身自

性日運忘且乞父祖皆積印之故也乃今年自院

不悉詣少且互所齋之供燈明之後向信信物可

因架空度辰年未之師之休息之後越葉主

坂午斜未若江又吉以十年伴前一度所系

信也梅則高僧未云七收步田園海海十方

池入仍炮明日別一合改秩少乃年之信信乃

白大系

東也。資振。次白大原。先礼。移示院。以。身。志。
夫。妙。房。上。人。建。多。也。或。尸。口。得。似。包。如。修。理。益。
破。用。免。裏。地。也。次。借。后。云。二品。次。礼。顯。真。
借。那。少。寺。号。能。保。寺。伊。勢。之。林。賢。甚。多。之。也。
地。祇。錄。情。寔。如。編。之。臺。滝。水。尚。眼。忽。者。洗。
六。根。考。之。次。系。束。正。院。故。良。仁。上。人。草。創。
奉。荒。房。上。人。尚。时。少。修。之。而。之。次。得。上。人。尚。世。可。
謂。成。身。之。仙。也。之。奉。恭。致。次。礼。毗。沙。門。丈。六。
气。故。年。之。位。建。之。伏。見。復。法。身。奉。号。气。也。
气。年。之。不。沙。門。号。

西其地。亦。遠。西。尸。口。壞。亦。皮。堂。可。被。建。之。未。
途。院。内。修。先。被。安。置。也。奉。礼。世。得。儀。也。
淚。離。押。之。也。次。亦。推。示。院。廊。浦。飢。條。夕。
内。後。先。向。勤。每。由。少。修。得。拾。遺。之。身。燭。之。後。
内。宿。所。一。月。之。修。行。二。世。之。玉。要。之。
自。今。日。年。自。奉。号。字。治。亦。那。大。系。經。蓋。多。也。
之。教。也。以。及。古。文。帛。乃。料。紙。先。人。所。筆。在。
其中。偏。是。二。親。奉。号。亦。離。生。死。取。能。美。挽。之。

每日忘六行廻向六道也。如有為事，不可不
之。仍力免之。違之。業也。每日并有依日不可
限行教以慈為院。本寺年久，信法澄通。忘
梨多也。

十七日甲戌陰晴。不覺早。齋院。養。雜事。六。系。

底田。非人。所。多。名。以。前。仁。未。漸。多。也。唐。子。中。夏。國。
注。得。身。以。故。回。使。補。事。保。事。六。世。名。便。少。法。系。指。事。
何。其。有。一。七。日。是。已。上。行。改。養。事。目。錄。表。之。是。其。

院。作。蓮。花。院。寺。塔。佛。被。始。八。縣。大。而。

蓮。花。院。佛。塔。唯。波。八。佛。以。後。法。全。別。院。佛。塔。以。法。云。必。佛。心。真。佛。塔。中。之。院。佛。
沙。度。法。金。剛。院。佛。塔。之。寺。中。寺。一。解。胎。土。也。

神。心。好。更。極。法。院。之。已。經。被。出。始。之。宋。有。

是。立。列。有。借。表。如。何。可。作。念。云。願。之。名。予。中。

云。五。年。塔。有。心。柱。被。安。置。八。神。之。之。多。塔。也。

心。柱。安。置。八。神。之。法。金。剛。院。之。重。佛。塔。也。

以。系。隆。不。及。吳。儀。塔。之。及。概。表。之。寺。有。五。年。又。佛。塔。

靜。賢。法。系。之。系。舍。之。列。少。事。之。在。佛。光。院。事。

寺。之。分。女。房。予。佛。塔。之。寺。有。五。年。又。佛。塔。

理紙三兩乃沙治
又理紙三味乃半小亦有沙治

供米負教信傳
九米負花正可分信
頭半

此外不能記
子同种不致分減中波作
子同种不致分減中波作

將梅度吹
實國

廿八日
廿九日
三十日

梅樹小波植在陽光院

依多作
次由

右

十九日

沙堂

廿九日

沙堂

頃刻 勢又中竹理 証三味 信在

院又 渡清 歷境 後在 清子 繪事

有沙 治為 院在 清子 退中

田宗 与 宿務 會也 上中 夜中 細之 長

小寺 仍 先中 陣有 僧名 定之

又未 城一 首入 無不 安

本日 丁丑 終日 与下 今日 不任 薩州 未既 入夜

右府 使來 回り

廿一日 戌亥 晴風 候更 及以 不知 行也 院候

今有 行府 法下 有由 候服 事

中深 服事 賓客 為之 未

今日 有行 府法 下 伊勢 外交 和男 踏躑 躑子 例

上野 塔川 中細 之 右中 弁

又彼 是仁 王去 日时 信名 上中 右府 弁 危人 弁

執事 轉字 弁

中印...
林二日已好晴依在

林二日已好晴依在 齋女院中 既就三昧乃事

修表法...
作仲在沙... 信信以快... 白... 日...

法... 修表... 亦...

又... 出除眼日... 未... 依作... 亦... 也

項... 退...

於... 後... 小... 堂... 彼... 始... 於... 三... 昧... 乃... 事... 行...

亦三日庚辰天... 今日於... 彼... 院... 小... 所... 堂... 可

彼... 行... 理... 執... 三... 昧... 乃... 奉... 任... 定... 在... 齋... 先... 齋

彼... 院... 次... 修... 乃... 齋... 院... 事... 行... 後... 淨... 齋... 所... 堂... 未

列... 女... 院... 修... 奉... 始... 於... 中... 文... 持... 交... 堂... 莊... 齋... 儀... 如... 所

修... 表... 乃... 始... 於... 齋... 法... 壇... 一... 面... 今... 細... 畫... 寫

妙... 事... 亦... 始... 於... 八... 位... 始... 名... 辰... 五... 通... 深... 佛... 位... 丹... 心

坏... 也... 角... 之... 始... 基... 乃... 始... 於... 初... 間... 之... 沙... 藏... 法... 料... 修... 始

左... 右... 互... 腋... 机... 如... 例... 乃... 始... 於... 置... 理... 既... 修... 甚... 一... 合... 乃... 始... 於... 所... 可... 故... 也

佛... 壇... 也... 而... 備... 佛... 修... 始... 明... 壇... 南... 之... 礼... 盤... 于... 東

之... 盤... 其... 佛... 修... 始... 度... 小... 乃... 始... 於... 中... 列... 院... 自... 仁... 和

齋... 在... 所... 及... 莫... 賢... 乎... 乃... 始... 於... 步... 泉... 佛... 集... 去... 隆

用... 持... 梅... 身... 燭... 乃... 始... 於... 後... 佛... 修... 始... 以... 系... 集... 总... 度... 接

少僧師 吳江 前少 傍師 勝賢 法眼 源室

柱 律 師 乍 性 法 橋 魚 賢 大 法 師 承 奉 光 益

仁 澄 亦 也 實以源室 高寺修僧 之外皆為法人之用 一 淨

法宗之子在法眼法師 入 行 之 後 予 奉 奉 中 次 由 院 行 正脚

上西門院內 庭 上 西 門 院 日 渡 涉 次 波 以 以 歸 右 處 宗藏

中 文 持 友 友 惟 是 依 是 主 體 他 人 不 能 奉 也

法 親 王 之 奉 仕 修 長 法 師 啓 白 涉 何 奇 泉

頻 佛 突 何 噴 烟 夢 勝 賢 勲 續 自今以後遂進

矣 刻 事 人 循 宗 選 也

佛 供 僧 供 見 報 事 文 但 僧 前 料 口 列 每

日 二 石 行 法 全 別 院 一 石 終 波 加 增 也

裝 束 八 多 涉 倉 調 歌也法不用 淨料 抄

僧 位 未 集 名 不 以 後 以 庭 官 為 使 了 也

僧 名 不 用法位之殿心對但皆乞涉室山身也 仍能彼法所 勝賢惟是苑之院僧原源室惟也 也

日 房 裝 束 五 德 國

散 苑 亦在志殿上人自崇上法

涉 室 以化行二品寺席力也

上 西 門 院 以涉寺南外自席力法不

日隱 五年 弘化元年

數破 古家法

云彌鹿身 在法而預

弘長 仁愛賢

法寺補少僧如法依作破身
依法持仁愛賢

為人 奉仕 供養 法之 物之 法 至 預 衆 入

加 捨 知 又 爲 隆 法 服 自 今 始 後 作 依 知 子 細

先 之 美 在 行 也

法 宗 之 義 例 又 條 製 法 衣 行 若

平 家 法 義 之

法衣行若

鏡 輝 自 法 不 渡 之 古 家 法 義

已上古家法義 爲瑞基振籍

八条院常盤 法寺補少僧如法依作破身

今 日 八 条 院 常 盤 法 寺 補 少 僧 如 法 依 作 破 身

仁 和 之 法 親 王 乃 法 寺 師 持 全 對 衆 十 二 人

法 不 荒 成 以 親 持 少 僧 如 有 去 頃 矣 以 前 持 少

僧 如 勝 賢 通法寺師 持 律 師 後 隆 平 性

既 禪 法 橋 通 賢 寬 厥 頤 毫 寬 寧 已上已

永 幸 公 氏 濶 亂 八 人 寬 昭 以 美 益 繁 永 信

真幸行妻 佐賢 仁隆 成任 威儀所

二人 先後 儀師 二人 實雅 後道

法皇有 明幸 並日 後法皇 皇制院 云 御殿下 乃太

大臣 正下 十有 余輩 盡仕 院司 中法 中納言

右中 弁 年方 相長 亦事 乃 且 日 報 乃 實 信

相長 而 被 沙 法 之 用 大臣 被 作 色 次 身 之

作鐘 字 明下 仲 賴 懷 家 五 六 迄 者 二

長 乃 口 平 秋 下

衆 侍 前 人 貞 祝 壽 定

大臣 園 樂 執 卷 陽 九 平 乃 為 良 威

裳 童子 左 家 克 右 光 實 顯 家 並 能

度 志 使 雅 長 朝 臣 申 次 吳 信 相 長 福 昌

院 有 中 贈 物

所 願 文 永 能 二 年 八 加 方 之 信 也

類 右 府 事 類 抄 事 右 下 殿 之 事 信 也 並 年 白 院 也

布 施 古 教

有 勅 賞 御 幸 乃

法 眼 明 目 弘 師 法 持 後 玄 上 院 後 實

阿 闍 梨 之 口 被 夢 之 乃 沙 等 師 賞 之

行 之 首 尾 不 知 叶 死 亦 陣 以 并 宣 下

上口夜中細之

元治寺修年
今日回京身 嘉一務 会 修 新 也 上口夜中細之

右少系未行

元治三味才二日事

昨日日事已天蘇已別 系院 元治光 今日理執

三味才二日也午別之相漸以系集付月之步

集去後未次信位 系入 沙堂 今 系 修

及中事申次為院系所 元治次後始日中時

予依觸中云々前大細言 元治元 院山虎中

細之 益 右出 門 皆 系 中文持大吏 時 新拿在中乃

六角字在 系 右大弁 矣 新 隆輔 之 佐 隆 亦 若 東 江

相座 名 不 波 是 南 養 子 居 二 作 之 宿 之 加 元 供養法 信 保 施 巡 勤

之 洞 智 源 笔 勤 事 一 編 系 退 去

予 奏 系 一 難 事 一 少 細 注 別 但 丹 波 找 本 事

丹波抄本五之五 少治事

傳 奏 以 弁 申 系 一 事

一 律文所了尾波切律文所了尾波切

律文所了尾波切律文所了尾波切

律文所了尾波切律文所了尾波切

其取

一 律文所了尾波切律文所了尾波切

律文所了尾波切律文所了尾波切

律文所了尾波切律文所了尾波切

一 律文所了尾波切律文所了尾波切

律文所了尾波切律文所了尾波切

支配

一 律文上所了尾波切律文上所了尾波切

律文上所了尾波切律文上所了尾波切

一 律文上所了尾波切律文上所了尾波切

律文上所了尾波切律文上所了尾波切

一 律文上所了尾波切律文上所了尾波切

律文上所了尾波切律文上所了尾波切

律文上所了尾波切律文上所了尾波切

律文上所了尾波切律文上所了尾波切

春分日在春分

廿六日壬午春日午折扉維七骨为果名

形中身依系结日在秋日也 在夜午刻系名

午幣多迴如例 哺时功功

理氣三味才 二日

理氣三味日中时如所

皇加門後法不并中堂境

今共 五时 汗 皇加 門院 法可

九系及 有燒已水

一 堂月以化灰悲

理氣三味才 二日

一 亦六日美未晴辰刻 系院 理氣三味 日中 如

例 之 佩 前 大 烟 之 例 高 苑 山 院 中 烟 之

中 之 柱 左 更 海 門 中 烟 之 氣 中 之 中 烟 之 角

掌 之 右 之 系 氣 之 右 右 步 清 晴 友 之 位 形 之 位

未 系 仕

奏之北陽左居

奏 慶 慶 勝 光 院 中 之 半

持 物 在 年 貢 壇 供 餅 亦 可 加 卷 米

廿 石 之 中 有 街 乞

將 未 序 之 作 之 并 海 四 序 信 也 可 後

一 此 下 位 恭 經 願 信

志 比 序 年 一 不 亦 明

女院少除年法任事

以个不違紀也

補時女院修年法任事殿 少長方內出若深也

因感所缺去年秋逝 去年日始而固食也

仍涉持佛堂 山面事任也 噴末 出處 二枚上敷 寫藤半林一枚

涉產方立几帳 二年 初庭 立八是表陰陽所

度者時為術 一序次在中乃知感於后持系

法帶 在土子 先之表法帶法 一也行 一也

陰陽所 座若先乞陰陽以立寬相長若居

次法所續物陰照知感相長後法本之改親雅

次在總相長奉任術 撥次半 訖撤出贖物

女院在涉次撤淨未次手退也

淨眼明事也初固食及日教可何折也

力中多持力更 事仍一日被為作法家輩

明法博士章貞控 求也 至成示中云法何

事才減淨眼 之夕月也明法博士甚廣也

判事明甚示中云術 候才減也服之有也

中人中快也說 未示被受方在重三

中法比在少并 息逝去可有涉服也

透期後字并昭法家中

章貞至歲中云何半職作三夕月

歲以後可之耶也

有少法此与生年滿七歲八歲三歲之類

之也

理執三味才六日事

亦七日甲申兩洋理執三味日中時如例也

勅法貴法抄之曰治戶部以下入六米氣仕

年成入各氣燒身事 西七系年成法抄少石燒已

奏所念似形氣傷名事

亦八日乙酉天晴三刻系流奏法務古法念似居表

信名不中法法然也依年氣中快隔年可

亦中奏之 作國念之 不可亦什名理執之

昧日中時如例 之類 則高苑山流中細之中

控名更 六角片方人并履之位 轉之位 陸水

若名 連卷 事 始之後 涉 室之 泰行 予

及中刻退出

山殿

奏法依事 身付 女房

奏吉田事

今款先奏法吉田社以泰賀歲下上社奉

於賢民下之依信者悲奉彼善心淨名卷中 每日系信可事付信也
常 之後者奉信者心經六句以彼法信信

乃等師魚觸身之者行布施一蒙去
比每月系信之次下信者勿信亦卷之信
爰志仍不單企也 海乃來世之覺也

卷法氣靈差必并佛所事

廿九日丙戌天陰風烈已刻系院卷法華卷

卷法 作可有 并似所事 作逐 又卷卷華卷

理 浙江之平斜 理紙之味 信徒 卷集

少例 平卷 事由 以彼彼日中 時信卷之勸信

表法所次 乃為居 別為法戶 以卷為卷 中

宮校 變 城川 中 酒之 抄 卷 中 乃 六 角 了 在

右字 在中 乃 抄 之 後 亦 也 亦 勸 寺 列 為 法 中

成 清 卷 抄 抄 亦 玉 山 料 身 後 亦 机 一 脚 卷

日 暇 机 一 脚 珠 卷

八 七 种 若 黑 條 亦 机 一 脚

事 不 始 以 亦 若 度

後 步 是 步 料 信 信 下 福 系 卷 撤 之 信

以并中
信卷 四 教 卷 量 用 伽 尼 一 卷 全 割 登
事 佛 卷 遠 一 投 揚 卡 五 右 卷 亦
佛 元 法 國 卷 抄 亦
文 事 自 滿 水 卷 卷 卷 亦
惟 方 入 道
中 甲 卷
平 卷 卷 卷
二 卷 卷 卷

沙布 既起日

所定料

後被物六疋

絹裏二

細白布七丈

法帳五

細白布 加草鞋

純白裝束一疋 直出 一領

陳文

細赤黃 威折 威物 裏置 土高 坏

久之後 一懸 子 産

義絹十七

積懸子 以糸 結

綿 百疋

月

錦 橫被 二疋

甘銀 步 杖

上臺 裝束 二具

照又 紗 櫛

中臺

子 裝束 四具

西草 一積

二十枚

白麻 一積

五十枚

已上 古 大 尺

判官代 布 或 爲 少 尺

以下

公 編

九被物 六 迄 勤 年 長 自 餘 侍 臣 等 以 迄 次

凡 之 步 五 迄 侍 臣 可 昇 殿 之 儀 雜 觸 中

中 之 侍 臣 之 被 後 不 可 物 之 七 仍 六 迄 之 界

請仿八口料

口 列

後被物 之三

凡 侍 可 力 年 侍 臣 等

裏物 三

圓 絹 一 裏 十 疋 白 布 二 裏 七 疋 各 白 布 絹 裏 之 凡 侍 臣 等 別 表 一 裏 之 以 步

裏

深 絹 裏 一

長 絹 六 疋 仍 法 也

大 之 侍 臣 等

後 威

紙裝束一具

中文檢定在

藝裝束一具

顯惠法在

多一後一懸子

又也

義指一懸子

又也

綿 百由

中文檢定在
模德子

錦模波二帖

懸銀技
字松尾并殿下之知行

童裝束三具

中文檢定 宗中

色羊一懸子

十枚

已上別

三鼎二人

并侍臣

治二書
書卷

新三鼎三人 不足乃并

新人在
年長

殘三人 多下 福由殿 新 雜須乃

殿上人 且 人教 不足 之也

系仕三鼎十八人

殿下 吉大臣 希大御令

高皇

別高 殿祝 治戶 口光 港 中法門中御言 宗家

右車門侍 宗威 苑山院中御言 皇親中法檢定 時名

新掌中御言 宗 殿戶 口 殿祝 右掌中御言 宗

六角中御言 宗 通 左大臣 宗 新 宗

左三番結成記 度之位 卷八 新之位 備補

殿上人廿一人 系入

預抄由二人

各每箱定 白布十段

水仕二人

各白布三段

鐘寮一人

白布二段

已上并所中行也

三月

一日戊子次天霖已別系院亦卒白河懸北法塔

也仍退也由系由女房中入矣依傳事又湯中朝

久烟言也白依法筆事被富並也御有正系也

又中文控大吏系舍日山懇懇以白勅命由少

身備括達次由名正

女院應隆仍於少少系也
女院有法由備唐隆仍乳系

法勝寺維那未修補也
法勝寺維那實言可持控後蒙辭退

以法指顯信可補部維那中水院人并

款系奉彼作少（少知与家）

古女并青霞合題云（其從老人家 善字）

一書（前少乃与子孫 前凡了行能）

二書（前中乃雅長 前中乃通款）

三書（前少細气受性 前少更音克）

四書（勸身中以官甚款 日川史定長）

五書（前少并款系係 前少并款系係）

六書（前少并款系係 前少并款系係）

七書（前少并款系係 前少并款系係）

八書（前少并款系係 前少并款系係）

九書（前少并款系係 前少并款系係）

十書（前少并款系係 前少并款系係）

十一書（前少并款系係 前少并款系係）

十二書（前少并款系係 前少并款系係）

十三書（前少并款系係 前少并款系係）

十四書（前少并款系係 前少并款系係）

十五書（前少并款系係 前少并款系係）

十六書（前少并款系係 前少并款系係）

十七書（前少并款系係 前少并款系係）

十八書（前少并款系係 前少并款系係）

十九書（前少并款系係 前少并款系係）

二十書（前少并款系係 前少并款系係）

左少并款系係

古女并青霞合題云

一書

二書

三書

四書

五書

六書

七書

八書

九書

十書

十一書

十二書

十三書

十四書

十五書

十六書

十七書

十八書

十九書

二十書

院入少与慈新

院入少与慈新 以移至明後日三月令力善也

院入少与慈新

拓知康朝臣加安活

二日己丑雨下振至院以知康朝臣加安活

以院相臣令安以次以相模及知氣亦之安

之牛一从撞樣亦取牛款二之与知康朝臣相元

有少抄物今日十箇可矣

先知在忘也

之日庚寅今日晴先知在忘也 唯顯矣因架奉

供奉佛經蓋岳茂 供奉也

乙未年三月五日 今然野 二月五日也 事了之後院是法法修

實雲其賀之修修紅車

依息忘日不加矣法

今日閱白殿下亦松殿被事修其未身釋如三

為像并沙自冕金字緝紙法華經一拜自

明日可被仍法八講也 皇加門院自去夜渡沙

律漢車 家司元長行 親親為持由仍事

多由少得可報也

亦大正各片

四日辛卯雨下七日矣法其久而亦元矣 山園

祭來念既

自今日殿下被始仍法八講

五日生辰晴實雲其示亦多概仍事其是法服其後

世月拾遺未條日列又未後 殿下沙八講

拓示家付 女院 中 女院 云 法華寺 是 寺 是

其心不便送國司之息申尤有之留允可也

者此于海表月八日可振礎者之明可立抄法
款宗家依假侍名如北之中也且力抄事之故
也功其之中旨可地明日法院併地之抄法
世有虎堂者

今日正曆寺之傍抄續經之也上編及中細之
實左少弁之先指少弁純忠公左少史甚為之

六日美已晴成光朝長來談文通之
差可有八幡冥抄事之志之如律今

家寬信郎來

啟下也八種之卷日
今日啟下抄八種之卷日

今日於雙輪寺上官舍會蓋流例之佐表

併經及和歌蹴鞠會之外紀忠公事和活序

史成奉記

法信寺那作如取清可之概仍海寺中故作也

七日甲午晴院宣到來以御維新殿清之概仍

海寺之事老即下知古家之是勝受之習也

法信寺那作如取清可之概仍海寺中故作也
今日於雙輪寺上官舍會蓋流例之佐表
併經及和歌蹴鞠會之外紀忠公事和活序
史成奉記

才之向行内响嘱钦依院作
多而亦未暇法殿下法八律身
今秋力冲多也新率院法不之系大细之考
史之鼎七八岁 位年

利永入道休息子孝院吐西門院入来法修

八日乙未晴 无列事 经高尔不尔 务子又光

国系未後世

今日殿下法八律修願

揚梅冲法大
有九年揚梅冲山法殿乃口齋色
至上月院間西園
法衛修園 如例 昨夕有出遊

法念佛法眼法修

九日丙申晴後寬送身之所念佛法眼甘維人
可淨教院外下福可申入

殿上人子作花人ノ寺衆子何例作座

日列未條

皇太后院自殿下是法古府二位中

應被早任先例催進舊貢相撲人子息更撰貢簿

力新懸白丁事未狀

舊貢

所願安少所景 日男安多入久保光少入

政亦更弘院

新懸白丁

拾人可撰簿力事

藤科相撲人等於舊貢事若但英名狀說中

者若撰勅新懸簿力事可被傳貢未入月之用

也杯付回衙下向庄郡沙法人等不養勅全

就因法介優免簿力事量事迫期自在

貢免弱若若若如蟪蛄不見負賦任以婦

回者論自己新懸撰簿力事可被石貢式

日有限不丁遲忘狀條送如件以條

美安四年三月七日正六位上行將高入石名保範直

五位下行權中將兼加賀守友系朝臣正六位上行為監中臣名保重直

十三日巳亥天晴今日始行仁王令

大進未候臨夕夢大補又集

并及深更進齋仍但以信教事上御不齋以事

入寺齋代後也殿上人五六米齋入後多施

余道日作卷人之催之故也

計三日庚子雨降七日江別半

計三日庚子雨降七日江別半

計三日庚子雨降七日江別半

女院女房於泉局息童於山並山家見

女院女房於泉局息童於山並山家見

少治也其尸婦并其息二人右續以信妻續列

本之等相付報雅

今日於延曆寺中堂被行中堂被行少房所法原某所行

左少奇道克在少史基並小齋向未以度者

使左少乃顯修船卜事施信表在諸國

賀殿上下每月心經信表依矣治間付定經表

訪之彼男同每月較系信依雖混合所別

使者也全輝以月維可果依亦依亦依亦依

所立代官也... 日也... 日也... 奉

十四日... 奉... 又... 日也... 奉

与... 奉... 又... 日也... 奉

与... 奉... 又... 日也... 奉

与... 奉... 又... 日也... 奉

与... 奉... 又... 日也... 奉

与... 奉... 又... 日也... 奉

静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

入... 静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

静賢法師... 奉... 又... 日也... 奉

友系被執乃奉作所未也其不該世事未
救則以法為

十五日壬寅天晴階通園梨

中那中那中中文交下外事以威賊力使中中文大失解

以伴界被下知基並

自今日法勝幸被始行九壇護摩蓋是恒

例也自尋家依相觸送名香獲合九畧

惟頁下苑人

不相叶私沙法送不可為

由後修譯法

十六日美卯午曉院并建春門院之教白安穩

候津波鴻抄已先祝帝代半次風波路此之

亦雖上下雜奇警不及是此法昔人三屏持卷

使資質右邊門後殿上人左中乃知威相長右中乃克德

相長中乃友乃以重酬朝長左少乃時矣友乃

權以修養右少乃成淨木朝卜善人左少乃親宗北面

獨尾張守位業或尸更克忠長門寺業忠於那也度

康賴左邊尉信威僧西光少乃又顯惠法下

參位可力所經修養由導時乃入道相國自

福系不被委仕

始取第... 山...

系此服系 山系 委依 乃力得 便之 始康 舒

未見 艾 跡 肝

十七日甲辰拾遺未收乃見中務所拓引之件給

武衛 家相 信 乃 陰 奧 古 之 時 古 及 國 任 人 武 衛 家

衛未合我修 件事雖有傳之 委之 紀又 委

靜賢法系 先年幸虎 皇始之 盡之 皮 法 系

借書 法 倉 道 一 力 消 徒 地 紀

中郡 后 少 月 沙 法 年

中郡 后 年 一 圓 司 成 庭 皇 送 一 又 觸 欣 家

十八日乙巳晴大進 日 別 閣 系 未 收

八福 收 時 中 少

十九日丙午 小 福 時 系 也 使 中 務 權 大 補

經家 朝 臣

馬 副 八 人 雜 文 八 人 若 獲 芳 上 下 出 前 黃 衣 由 生 年 凡 物 雜 文 四 人 裝 束 日 衣 若 侍 又 位 六 位 娘 家 文 武

忠 厚 肉 今 入 上 日 泉 相 兼 升 人 評

舞 人 中 務 權 少 補 充 實 條 從 成 定

右 宮 係 依 基 花 中 務 權 少 補 澄 成 傳 從 系 後 右 系

權 依 益 林 少 細 之 顯 表 系 人 右 係 一 尉 充 系 主 漸 系 人

左出丁尉尹能多傍尉清光 後判 後代 如後 後前

河内古質恭親卜 希氏尹少輔威子朝卜 希氏威子

希子高恭仕子卿 関白敬平 大納言三条左衛門之朝高

中世門中納言花山院中納言中文 権左衛門平光朝高

中右左衛門中納言左左弁 新嘗和修理 後

清辨 清孫以弁長方朝卜 俊佐 飛人右衛門 権左衛門 清

一 献 常人内飛以親 後朝高 清孫 飛人右衛門 清光

二 献 勸 登二系左衛門之朝高 朝高 中次官 基親 朝高

其正以親 雅 後朝高 清孫 飛人右衛門 清光 朝高

三 献 勸 登 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高

雅 後朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高

口 献 勸 登 中世門中納言 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高

後 後朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高

五 献 勸 登 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高

朝 顯 信 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高

皇 正 臣 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高

掃 以 花 光 雅 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高 朝高

已上

廿日丁未晴分列事

亦一日戊申雨降拾遺未收有德句三到到式也

深草作夕托云少信

十二日己酉天陰權曆將土葛迄本回深草作事

托中除事

因祭未收

舟名色子信信表自使廢到少

舟名色子信信表自使廢到少

亦被追教

右和茶目主付後前尾堂信表也

七日大和茶目主付後前尾堂信表也

信正為導師

作又事

亦三日庚戌大和以下親實未收後候待序

似畫
圖探部

有上句入款少教

中郡 左少少少

亦四日辛亥天陰移賢法系送平云中郡 彦亦

由右使有来 每妻病不下 尚幸仍老药甚益 汗

乙海速来

作文字 今目一首 香保持相亦 数中 步尸 日来 寄 篇

日列去数 高侍仍不相念也 此之真与已

七教有去 高 如侍 令

本五日子雨下 今日官列 鬼也 之系 大细 之 院

中细之中 交 柱 为 矣 在 矣 并 宁 在 矣 并 在 少年 少

细言三人 任属 朋长 作事 颖家 泰仕中 少年 依 之 人 教 中

文喜雨 一 间

予给身 暇 矣 治 在 少 并 泰 仕 院 造 物 指 涉 去

以 并 右 中 并 不 泰 何 障 示

皇加 院 步 憾 法 结 额 事

亦六 自 矣 丑 雨 时 下 七 日 皇 加 院 步 憾 法 结 额

也 云 娣 塔 河 中 细 云 一 人 未 入 彩 二 月 披 行 一 优

炎上 事 了 矣 也 何 事

送 辞 餞 事

自 官 送 辞 餞

皇加 院 步 憾 法 结 额 事 亦六 自 矣 丑 雨 时 下 七 日 皇 加 院 步 憾 法 结 额 也 云 娣 塔 河 中 细 云 一 人 未 入 彩 二 月 披 行 一 优 炎上 事 了 矣 也 何 事 送 辞 餞 事 自 官 送 辞 餞

向深草

亦七日甲寅朝雨夕晴为甚麦苗相扶矣此向

深草名古氏 字泰口称 小宅自彼顺高雨也

类多教有参 得令报

中郡在下田

中郡底庭中文可成改 布下知甚重又福申中文

大矣引次身沙治在礼不能纪录 中郡

本八日乙卯歷使深草地 后午上功草

为院所抄写依及有少道

中 文抄大更 被送身 么 为院所抄写依及为日

百所運百由示因

九系八海路

今日九系八海路也 依上例 书初候与修

廿九日丙辰天晴夕列 事家寬信於未修北差

事花房列 自買茂退出 伴薩列 日未

企可度 信

欲惜畫日 中 一 向中山 操 仍不

拾遺作事

痕信序 但拾遺 舍送 詩題 云 甚 直 視 聽

中 影 中

錄 任 歸 左 大奔 先 日 亦 右 大 系

是 例 中

相觸之妻被示可逐幸年之中犹有存者
而所之帝者年事之犹有少者况在左文
於夫後之妻被示云后来少史为承系衙之有在
向人并伴扶书情籍事之理如向先人之付
不取及下后慈以職之時以之人煩为事译任
之品先人之

本云

是出之在何判

...

吉御記

兼安四年

八月端欠

...

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

兼安四年八月

敷紫端身并藏之為殿上人座因藏之日辰兼寢

殿南簾除御階間系并立巨帳以西物殿廊

乃左相據人座馬道弓以南二箇間放板敷門也以西中

門南掖為右相據人座准左當寢殿奠

池上敷假板東西妻被供用立五丈二尺先院可被假假假

乃樂屋左右方大可假假之然而其前立大鼓假假

鼓各一面依每样亦如常已別已下祭

集及午別法皇出御自良角妻戶着御

母屋御座御三衣次關白殿念全今敷

御三衣次關白殿念全今敷

白給^侍給^御儀^原次^儀儀出^行自西對東

面^專戶^徑透^渡殿入^寢殿西面^妻戶^着傳

庇^御座有^御拜^{之儀}如^常次^御拜^入還^御

西對^御休^息不^次法^皇入^御次^三不^兼殿^上人

五^位各^進改^寢殿^御裝^束自^西南^西二^面御

東敷儀洞端至一投軸其上方移居御三衣首以至上侍座日庇

中五間移敷之南階間也靴鬚首小如日才二間委芥日庇

二夜為洞白御座南階以西篋子及透渡殿委是芥日庇

公卿座夾南階東面板左右立胡床南階西御委黃

疊為內裏侍長座東日東御委日專座西六位外記史并北東面

中門前東御二行敷日專座上座西六位外記史并北東面

左右相探座前立胡床為出居座

次^左右^在次^將陣^列前^進次^法皇^着南^庇

御^座次^宸儀^渡殿^草鞋^御儀^渡殿

此^間樂^屋發^亂聲^次色^仗展^開白^殿全^儀急

中^座竹^次今^藏人^乃右^在中^乃實^宗朝^臣石^諸御

次^一大臣^已下^着座^左大臣^乃源^大綱^言

右^大乃^大宮^大次^中宮^大次^隆三^系大^綱言^實

新^大綱^言五^系中^綱言^邦左^出門^信成^按察^使賢

右^出門^信成^按察^使賢

成^能右^兵出^信成^按察^使賢

平^少相^教盛^左宰^相中^將

六角宰相亦通 右宰相中為 右宰相 右宰相

大吏信澄 兵部信範 右大弁信澄 右大弁信澄 右大弁信澄

著座各被作面對南 次上官著座少細言信康朝卜

清原執業中原所為左大吏小觀階職小著前座六位外記

次因裏侍長左馬控以信基朝卜已下著座

院侍長左京大吏信範朝卜已下著

座次左府奉儀樂少事右中為宅

龍以鷄首濱依池上奏樂示 次伶人下舟

各進先拔一鼓者二人至出涉前勿漸回南邊

經西之百友舟迴掉退去鼓鉦在舟中 伶人

進相撲美衣凡右各十人 因以弁長方朝卜 次又左右

發亂勢先珍樂次右樂各 次色仗起座退去次

左右相撲長各二人右素 孫任中臣雅友取田座

出自相撲屋小舟二間見合量幕前退

入日座一枚 置鈕衣紗 次出辰 次為

左少乃感於朝卜右少乃清通朝長各出自身

二间手山立才 一间隔子前相措总之 次在右

合手右装束日相撲長短南階東西去四許丈

立次等尉判总之先立才一節お座前九右府生下野師式

次相撲長小立才二间九在共北上次上口九府邊

作出辰百相撲人先九作云改家九進以次在作云恒九進其音分明不向九

一番九在并政家夜手甘菱花右眼助恒日付甄花

各元鈕私手出量田産之後練合未相牽

二許丈被入之

二番九九部永負板右莖原惟長

未及手合惟長手階下中障手河云右相撲

人豊原惟長九申久齡餘六旬手仕四代

病手久力衰手今度不堪勝負欲被

裁免依無許容相合手合之 後於惣人

依被先退入

三番九尾張遠宗右在并家直

手合之後家直手階下少降依落馬矣

殊不堪勝負中可被免之由手依不被先於

以手合六少度中降依作於擬勝負家直捨

遠宗之宴于頗推上砂遠宗於此合于
 時相據長小死改之在宗於無原宗於宴
 于小長被向人以此乃次乃小相具象也此退
 入今飲水在宗宴于之及象也無左右
 今入飲不及停立之中後日或人梅之未史之
 百年又可入此一乞宴于之中被乞上為人
 共退入右方受之方將纏以象也紅單袖
 二三番之百賜云卿御衛是

此間供服御膳陪膳新大納言役送藏人在左
 兼光左出下控儀先雅在少弁親宗小親之徒
 比渡殿山面徑日東乃合間利寢殿西相鴨柄下先雅
 招種鷲躡寬治大府口被種之故傍軍頗難之為
 上皇御不何之種之小改先祖
 事依事之用於元

四番 左玉稱真真勝 右坂上廣真 息血空

五番 左左井氏法勝 右左井家則勝

六番 左小野信守勝 右大原元光勝

七番 左中長末清勝 右右左井家次

右左投家次人以爲此興
 家次二男不入百令今被出之治
 有上手其高嶺爲年少以
 若手不之也中人以種之

次七番ノ奏礼舞 左先奏按乃 左之乃監物

奏納換利 右之乃監多好方 先是 出辰乃并立

合籌判亦退入次左右奏年 左賀殿八人先

作礼 右地久八人左胡飲酒 敬位若前 上口左府奉物

宋人樂人亦初賞 紀座亦復 殿坤角百之 以之若舍人 被作 勅賞

一階 右新摩 羯六人左教手 乃監光上 上舞 被作

勅賞 一階 同前 右改德 志若前 此間 被作 樂人

时秋於 勅賞 一階 左北 庭樂八人右琳 親交

舞間 左少 侍通 資朔下 左少 乃雅 吳胡長 依上

宣泰進 左入自東 右自中 門前 亦進 兼儀 律 節 過 之 故 无

東釣殿 馬道 間 檄之 次 有 所 贈 物 乃院 司

物馬 二足 鼠毛 草毛 左少 乃时 實 朔下 太少 乃 雅 賢

南庭 出于 西中門 次 賜 禄 亦 云 瑞 已 下 乃 妙

香 房 物 掛 一 領 以 中 乃 實 亦 朔下 亦 之 白 纒 大 掛 一 色 以 糸

被 下 初 之 何 乃 人 役 之 六 位 若 人 奉 仕 平 長 大 臣 執 後 織

但 云 御 志 記 存 乃 志 不 修 之 儀 亦 亦 亦 少 個 言 已 下

及 女 亦 亦 征 皆 悉 可 亦 給 之 由 下 知 乃 亦 亦 亦 代 下 又 云 瑞

乃 名 由 于 西 對 以 花 付 以 并 長 方 朔 長

乃 名 由 于 西 對 以 花 付 以 并 長 方 朔 長

福仁見在人教可給之由召使令之仁先例可致少治中
日下初ノ予力福仍申之中日未不見足又不可告催然而
給中房還中ノ忽而亦也余又給女房贈物 海後五十疋 填之被

下 勅賞以苑人并親尔自院被中開白殿

被坏勅賞ノ以并長方胡長被伴九大小ノ百少

因記感後被下知

從三位友原備範 院中給

日基通 建春門院中給 元從上四位 右中乃少元

從五位上日保家 上西門院中給 次供御膳予奉仕陪膳今朝依無之隙及今

及身燭徑還御 建春門院御取

女房花二重織物御唐衣 以中系盛日給 以銀月伴文

日御上总 文日給 紅步川倍支

女房花御草 手 三重 紅步御袴 以泥畫日給

女房花御裳腰 以中系量日給

半物二人装束

萩 立青草重

紅步衣

朽葉上总

女房花唐衣 以銀權 以中給 色秋花身之

紅步袴 以銀泥流之

難仕二人裝束

栲葉頭文紗帷 置落以釜的付鳥丸

紅川倍木

女郎花單衣

後裳 鈔牌

赤地錦懸帶 玉上指

予今朔冠衣冠早齋奉仍女院由方步出奉
伊賀前司雅元刷之次予迎電退由改忌
米芟不功忒也
臺盤不菓子 剛當券作寺 樂不酒肴 能也寺通威那
能馬寺光恩朝
勤之已上院司

女房初一日内送立供養三人不動尊

女房初日深理法橋一日送立供養三人不動尊像

以頭定為導師真言供養也今日治似喊

頗又發仰能發心地一事 邪幸頻活也

三日丁巳晴今日遍休息於送有來修又薩列

未

今日釋奠也上以友中細之齋儀尤無出替尤

少弁兼光右少弁親宗少細之信康朔卜信季

儒士成光朔卜已下齋仕之有宴座題云受

去之依 毛符十六白

四日戊午晴今日不出仕

初修了八海修了
初修了八海修也仍如形送持物自分水于修

九具乞經料半 鞆九積多一具後園皇太后官持

大吏朝方苑人丸出下控依勘解由次官中宮大進

乞料亦悉入

左次乃亦悉入仍和行并系
今夜在左次乃亦地 院右標勝原乳

樂院七番相據依右方勝果殿

今日早殿事 先賢 信清 徑仲
今夜彼德昇殿

中營控少捕光實 右側下依徑仲

中野系
今日中野系也

五日己未陰晴不定已刻系院奏六ヶ条事

蓮花王院領井原庄夜中野在下日予別高戸存領
小亭之院賜光院 院兵士 自余見日六

此徑作之 後退也

突雲未亦不望予 以爲賜予 之相持蓮

花苑院上座之 又色江寺未

六日庚申陰晴不定是寬信那以爲二月所

昔好命之又丈之未故雲列息也梅乃若

之中尤之乃矣

李汝漢治中
自今日彼始乃李汝漢治中少弁兼光事乃

之

大將相搢人亦有響應事云卿列尚

中卿中卿之梅魯使源中雅賴六角相已上東平

信隆
信隆
大吏並衣中卿
鳥帽並衣殿上人頭

中卿中卿將雅長宅能亦明長尤少乃顯信
咸賴實教亦明長宅能亦明長尤少乃顯信

依拓門乃向之寢殿南面發高藥以宗量乃

公卿殿上人座南庭步五丈兼莊乃相搢人座

寢殿女房出伸先勸初然蓋有三然二然

府生敷恒二然者長之文次信食元恨并水飯次信例

福使國人次乃相搢人於南檻給列福完

手正家單重一願宗若一信昭永貞日在白手

守安再幸宗單重一願宗若一信昭永貞日在白手

大吏亦着衣冠死之乃信昭永貞日在白手

多允

今勝之味信房燒失之
今無為勝之 之味信房一字燒失之方之而無

法檢能因後胡希流依批卷及所 道鮮須

追却

七日季月晴辰刻 泰院今日於水面臺被百舍

左方相探未蓋 岳儀也 公口別 南林卷使右

出丁皆太共清譜 治地指之君依 亦復中若 忘年

正家眼承真及守安遠宗真真未信亦依

石別 居砌下

一番 威巨勝 別房

二番 元吉勝 中障

宗清從 種方子

三番 守真勝 守房

常隆 越中

四番 助真中障 先直勝中障

先在子

五番 成以勝 真在

常隆

六番 吉澄 助正勝

七番 長茂中障 於景被押懸繩方

永季孫

八番 真在勝 久宗中不為

播作

九番 兼保 未光勝中障

公九回

十番 宗依 未元勝

十番

未元 勝 依宅被百檢也

抄傳回

十一番

聽信 中傳
信叔 勝

因訪回
常陰回

十二番

貞年
貞遠 勝

常陰
相摸

十三番

貞年 中傳
貞仁 勝

式免

十四番

十五番

八日 壬戌 晴 子 齋院 奏 雜事

領事 松家 庄所 少 又 多 可
日 攝 事 也

傳 奏 兼 光 中 為 系 少

上 江 國 司 中 海 如 欠 臨 少
有 初 件 蓮 花 王 院

傳 奏 兼 光 十 五 節 少
齋 院 官 所 裝 束 氣 衰 損 事 并 殿 下 少 給 春 習

領 事 一 件 此 等 任 作 之 後 退 出
院 師 幸 八 系 院 少

院 師 幸 八 系 院 少
昨 夕 院 師 幸 八 系 院 云 珮 按 察 納 之 已 下 為 三 人
殿 上 人 八 九 輩 供 奉 事 不 及 廣 之 自 去 比 彼 始 行

百 日 所 念 佛 乃 所 社 也 今 海 給 予

今 日 尤 大 將 被 餐 意 相 撲 人 小 云 珮 別 當 花 山 院

中 細 之 中 官 少 吏 右 兵 部 督 手 等 相 修 理 大 吏

亦 被 仍 向 予 其 儀 可 尋 沒 之

予 侍 祝 實 小 不 願 應 院 東 山 平 相 云 山 在 屏

功草

有夢

手見法皇十院小 又佐田事

九日美家陰晴 不乞今日不出仕雅通 府使高志

末鳩末庄

薩列末法

北院被台合名方相標

今日院被台合名方相標 有十九番 家直子

家次可操之 中有作与稱 所方不悉仍 家直破

家直破

家直破

被抄傍事 今日有僧事

大僧正覺讚

元信正

信正禪表

元信傍正

大僧正賢覺

皇日法

房覺

北院山德野法

大僧正覺長

三合芳

信少僧正友智

先光

實修

律師顯嚴

東了切

道凱

天衣三合

明遍

敏是辭大傍及

法眼道俊

行系辭少傍那

法橋長暹

切

隆雅

晴仁

所新賞

天衣道

天台灌頂信寬忠

力業入道子能至兄

有吉夢自雲州行送後羅急如律令

十日甲子晴早黍流之處密渡沙七条殿
之
女院還御之後申入月府中海未屋多仰
申可令中給若此程作後退也

七条殿所移位也

今來為院七条殿所移位也本舍屋雖無指破

損傷以破即今放入東西部不被彩造也為院所
治信西光一向造營也御移位奉黍經期卜奉
行之每事略儀予有障不奉仕大略相尋
日列之委須送之有見與但由院殿上女房衝

手之外被山形御食

七条殿御渡車

戊刻御奉水火判官代日白守足長北水立亦

相模守有隆大立南黃牛一頭今夜不被懸之

右府下野教隆陰陽頭在恙胡長奉仕所及閑於

女院五菓
自堂盤
取供如

西北渡殿供五菓女房乃陪膳之若人為馬口持作
先雅木工頭親雜若人右少弁

親宗小次日老頭親信胡長院古書次能也

通威胡長持黍所新懷步上達部於殿上

有盃酌奉兼長親食一獻親信胡卜持黍

後見註明
置六位判官代总廣
親信明臣
稱之存存
因之云之臣
被作之時
五元元子
兼之初抄
中(山)後
後(山)後
後(山)後

置六位判官代总廣
九瓶子被累
二二獻
置少五位殿上人役之
以好令退也

右大臣

右大将

源大納言

右大臣

右大臣

中宮大史

三条大納言

右大臣

中門中納言

按察

右大臣

花山院中納言

中宮持大史

右大臣

右兵部省

六角宰相

右宰相中納言

右大臣

新三位備前守
今夕抄之位備前守

表袴亦備用
中宮大史車自院被
殿之受令中不催之申
給之
前駈四人
兵部依基
能
危
從
之

佛所院寫來
付法
花
寺
所
行
交
度
可
奏
院
座

十一日乙丑晴
陰夕
泰院
在別
車
留
恙
退
也

今夜有
新
幸
雨
院
云
以
源
大
納
言
以
下
供
奉
也
大
納
言

不
泰
心
以
為
步
中
文
目
仍
張
因
傳
不
危
從
職
事

九少年

多慶院 十二日丙寅陰晴不乞早念院奉雜事五三六

條物短作及退也

壬辰國日未小海物先除中

三多慶院 十三日丁卯晴已別念院奉三多慶事

一法花寺出竹交及院号進上多先中女院作

可令見西光勝并先付仏石可立多法

一別當中住儀在少作奉貢彩少思食可法

一蓮華藏院上庄并宗名勝与々之實雲

相持事并宗以親者作不持但進補任一切

不下有詐客事也

彼九蓮花王院寶苑御出日深少 次急蓮華王院寶藏可多九所步目錄之中

依彼作下也執竹法下靜賢同以系會兼日依

加催也文啟庭大外託執業師尚也文啟事奉

助及師並与少物師我以下餘華念入各

假寶藏西庇系奉庭又之先九出所步目錄披

系院 見之當時不被細少湯步未被目錄先奉乃

五月少補束

今夜有吉夢

兔裝事

醍醐追 慈山 伊之息

如律令

十四日戊辰晴今日適休閑不出仕薩列束又

長徑束

入夜女院作吉夜利束

具事 明日由幸夕

今夜有夢

南少 兼信郎

十五日己巳天陰小雨晴降今日石清水放生也

上卿右衛門督系忝議左兵出督成能并右少并
親宗右少中出出辰左之中乃知威烟下右中乃

光德烟后左出乃檢依光雅右出乃兼弁左

兵出代官右兵出依基能外記後園史威純

已列忝院未斜院并女院有河幸三江西門

院東山殿渡河七条殿後河乃始也女院

御向車

中官行交 作由車旁

公卿別當束草中官權

中官行大吏 右兵出督 修理大吏 左系大吏

已上由衣 各二乃布衣

殿上人八九輩供奉由車 二由乃中

已能羽下 右少乃 小然 日 毫從侍左出乃射依乃

能清清忠乃 貞木也 又北面下福未依 如常

中官行大吏 左系大吏 作云 西邊由而皆志若 松三被振衣 冠如何 日可有

琵琶 而被納蓮花王院寶蓋

入夜院宣到未恭候奉琵琶一面

上西门院街川玉物也可網蓮花王院寶苑

即下知執事

系樓院

十六日庚午晴子泰院奏条事

一别南中信儀國塩口都奉奠可進千位事

作可進寄文

一中宮權大史中久永由厨符少差杖三河浦

任人時完監行事

一頼憲期十文平

作可經也

一交放泉

作可保年預後威那

一日事教状事

仰彩所共責通通之役不可道通可

放分正使

收程作之後逐電泰寶藏靜賢法系

泰玄又大外記降高助友廣季右出門

大久吉光以下八九輩泰玄合目録書之

法方史

白大原福見产非祥了
十九日美西晴

卯刻出蓬門白大原
院

先尊中極示院福中之
衣被任東近院

用之即悉入對面之
石隨在衣淚不流

教乃先被後發心
一決身次及世事不被任

之不及方丈之
室氣我一決巡礼堂一以由

彼身補飢形以
言談既留意於此地怒以

由依便白拾遺
少身獨一得由九條

今夜院建春門院
陰奉鳥羽成菩提院

彼岸御念仏之
石可所生之

鳥羽所念仏故事
在房母殿上合書
其日甲戌晴今日彼岸
始也鳥羽所念併光能
朝下以

御念得回書

一書 亥午

覺筭

行曉

智秀

二書 卯未

公純

源運

源猷

三書 辰申

最源

道仁

智宗

四書 巳酉

源亮

倫日

源覺

兼字四年八月十日

廿日

定能胡卜 恭通胡卜

威彰胡卜

雅堅胡卜

光長 家教

所家

隆保

廿一日

親信胡卜 賴輔胡卜

恭通胡卜

保威胡卜

親胡親回 基輔

所廣

經仲

廿二日

實清胡卜 賴政胡卜

經房胡卜

威經胡卜

親雅 威彰

光長

威彰

廿三日

知威胡卜 重衡胡卜

威方胡卜

實茂胡卜

家光 基宗

家俊

親經

廿四日

清通胡卜 經家胡卜

源經胡卜

信幸胡卜

範季 實朋

信季

基明

廿五日

通親胡卜 隆房胡卜

光憲胡卜

隆信胡卜

定宗 基花

仲經

威定

亦六日

賴實朔卜 既信朔卜 時實朔卜 仍賴

充實 隆成 系休

養安四年 八月亦日

改無益力後年不審不也傷名

二場多今度去換人心曉款又年

月日新不去年可尋殿上人昔先

例時昔也十餘年被改一日一夜昔

亦三月又被改時昔死予事以事二今度

也海濱邊之亦也他主衛朔卜

言其竟也當時右高司前不入之奉

人不知業內死又親信朔卜之藏

亦尤可憐也

敏三位中乃所學中 亦一日乙死天晴今日敏三位中乃敏所學中也

云邪五系中酒這太為替中宮持久吏右兵出

平寧相已下七八輩急入由出立取

二足平府本御車本自院右將監系執力

信使被執之給馬一足於御使出童地藏九日

李之黃晉上下自院被潤之

前黃上下款冬衣為之

潤邊之御既舍人二人

黃晉上下自院被潤之

信嗣二人裝束日月李之前駮八次帝后宮大至

信國筑前司以政老皇后大進長經九

馬權物子依苑人大失料高業信清仔質守

信廣殿出人充中乃知感胡卜九乃以重衡胡卜

依而更授老少及既信胡卜九乃授以信基胡卜

讚政少乃時吳胡卜氏尸大補兼乞侍從承後

敬位感乞亦連轅尾後九府生武成為難矣

長作清共內表中次以中乃吳宗胡臣恭

所前給中宮中次大進基親有所贈物所

免重謝胡臣隨身給腰免院中次內苑以親信

胡臣恭御前給建春門院中次恭河少將

威賴胡臣皇嘉門院中次中勢持大補經表

胡卜有所贈物皆隨身給腰免開白殿中次

苑人九少并兼先有所對面亦門出物馬一疋

隨身所出之事亦兵於鄉中少治之少細言信季

仍之相回祿門依有口入彼一家人恭入之以

傳說注之難指南

交弁叙三位後如常儀也

今日右大臣三品之後勅各依改元少弁并

上皇出齋會外託門再侍賢門有出立之

各勅鳥羽少金儀也

廿二日丙子天晴上卧之後外時退下

安樂壽院中
兼毫儀於當不

改裝束之後終日往作所嘗

侍賢門院也忘日少付院少奉法金剛院

今日待賢門院所忘日也何已刻法皇所奉法

金剛院公卿治少卿中出門中納言按桑使花山

院中納言左兵部督右兵部督長門三位左京
大史由三人之外選者云選中此外殿上人

餘輩供奉公卿也衣殿上人衣冠申斜還所之

後有所伴供奉檢律所能云乃少導師題名

傍六次誦演給布施導師一重一裏題

名傍一裏予給布施燭比退出

三少系事少女院也

三少系中女院御方

所選依抄所伴經明日可始
之由下知少法花堂所伴

女院也選依抄所伴經用遠少也

廿三日丁丑晴今日不出少女院所選依抄所伴經今

奉始之伴所乃遠法所經所法攝回嚴且

可下少抄物之申可伴所倉仲遠之香下知宗家

先)

前大御言乃室家供養八系中少中少

水四日戌寅天晴今日前大御言 室家固忘閑

也已者嚴祝細之 八系猪限多中連一間四

面小堂安並木身釋迦三尊被供養也依彼

招引手刻仍向未斜事始於大信却院總

為導師法服題名信六口 為齋裝未藏人五位二

人信賢勅堂童子衣冠文章博士敦周下

草願文左宰相中清身公卿 大夫大史衣冠

按系使左宰相中將右宰相中將已上未

教上人以中將源中將連衣左府中將衣冠

予信濃少將侍從公卿未也此外院殿上人

前兵部大輔歌方朔卜前右少將以隆信朔卜

皇太后宮行家中宮授大進左額太宮權龜

能保也此外諸大夫亦七八輩布施有數事

)

亦五日己卯雨下午刻許泰鳥羽殿成善提院

陰夕徑依無殊事不泰御外退出)

物部

天保四年

天保四年九月

手番

二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
九番	十番	十一番	十二番	十三番	十四番	十五番	十六番	十七番	十八番	十九番	二十番	二十一番	二十二番	二十三番	二十四番	二十五番	二十六番	二十七番
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜
足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜	足利朝卜

二日丙戌晴今日不霽沙不空以勢辰日別園梨

小東隱

三日晚晴奉覽法華堂所併座先小修候夕泰院奏覽法華堂所併座先

亦陰快晴日院為所持未也作云先可分

鏡不可為飛天此外事不能言託而已

申斜退出入夜又淨泰乃聽之候命

女院曾言信身院今曉泰濟日吉社午刻還行

石宗家作法華事涉佛勅定夕又信託

今夜令身今夜九彩大烟云石角宰相晴夕共有興

徑業來

四日戊子天霖入雨屢濕辰刻泰院無奏

同夕平相云泰会被示中群在下司經理

泰八幡本奉午刻作退下活被系信八幡文於鳥羽

南棧南系船自美豆濱乘車入款泰着

通款一柳有夢想善藤苑也現發榮花當

證蓮臺花

今夜七候合九寧相中得持九無術皆

今夜令身

自今日於賀茂下上社限三ヶ夜被修所神
樂苑人佐光雅泰向奉仍之
自八指序路
五日己丑鷄鳴宮廻一退下宿所休息之後即
初下向舟邊一之乃午一點着七条宿所留置
祭賀茂高
糸吉田次糸賀茂有心進供奉去春以好有
每月之勤功浩一_次向勤解申小治序序九条
今夕有夢猶補延尉可奉仕祭使逐量
相續之跡光乃身次乃房列事幸甚
急一如律令

今日今日在九月亥也 有相櫟兩院陰幸
今候合
今候合九實宗朝臣右光能朝臣持
院之日者相櫟所院
六日庚寅晴午刻 糸院所事今日在右相櫟
予向中 爲權大吏 多久不詣申故
言 請成教 及留序 畢
然野詣修 食了之由有院宣院意奉
去候今候合九恭通胡卜右雅賢朝臣
九院原優員

大正九年九月廿一日
九月廿一日

系院奏事

七日辛卯自晚雨下早 系院奏雜事共

中溫泉庭祈中 八多庭輪中天長事

奏國同注祀溫泉庭之理可成戶所下文之

由有其作項之退出次系實藏令撰文書

奏系文少 抄抄

今夜之秋合 左右少將障房羽下 右信濃少將

實及羽下 務

三ヶ条 奏院

八日壬辰朝 雨辰別系院奏雜事 三ヶ条

塩田庄使少 溫泉庭在禰 以上作詞注列目錄

傳奏系光十七ヶ条事

系光 中傳 奏七ヶ条事

涉田文少 裝末 氣

瀧原宮 祈裝末 氣 食損事 作破損留早

可令 佃進又 祈卜 神事 也 御 由 矣 祈

次 公 象 次 尤 可 尋 且 任 祈 卜 飯 可 令 祈 請

回宗寺 禱 堂 作 序 兼 付 成 切 可 令 祈 理 事

作 云 中 方 尤 可 尤 子 可 致 抄 法

同由 後 國 祈 對 五ヶ年 未 祈 事 作 一 回

司

無福寺 以 河 國 日 至 庄 祈 事

興福寺 順 河 國 日 至 庄 依 遠 月 裏 祈 課

未滿國司押充傳聖料依關白敕作於下

既向後彼乞之變院奏已一可為院戶沙汰

之中國司令申之

彼唐任人罷人而院橋作平也
造文一府依作新中院治若

作云於官被石向可宜

河內國中法文涉茶米
河內國司中除中官職之外諸官所業未先

除之 作不分明

興福寺別院院河內國一保
興福寺別院善提步院院河內國一庄充

國役事 作四國司

四宗寺義作使備保山抄所西抄本
四宗寺義作國使備保山國司被充山料

所可材未更 作四國司

停奏光雅申五ヶ条事
光雅申五ヶ条事

外立所井水減
神官外官所井水減事

日正殿千木上珍
日正殿千木上珍居事

作以上任濟下執殊之形請申中可作

出急之且又任官外純例例勢之次被裁

立命辨別可宜先

云口初使日次
多卿初使日次事關白作云十一月每月

乃使宣使十月被立若律事相建先

作開白如彼中十一月可彼立存之

可令換日次

任若造 近日社領批稱庄所保身
任若社造 定日吉社領批稱庄所保身

所悉籠商社之時可許免中象

院宜之旨成仲令中事

作可被免

同役後三系院田正保身四日可被沙治
同役後三系院田正保身四日可被沙治

之申下初令申不可叶中事

作減課役形可乃庄家沙治

慶嘉治書沙治

申引 近日社領批稱庄所保身

文啟衆五六輩各入願憲初長文書一兩撰

定一又手年二合身季時入道進上

御形 在返事 皆是退出

今日七換合尤顯信綱長勝右所保稱長

人 後以

九日癸巳天霖未初泰院傳奏頭辨中月苑

系解 近日社領批稱庄所保身 作云可令沙治

重陽平座在後

今日重陽平座也中文右吏 治堀河中用言

志在兵部皆成范等急若伏座先以官人托薦人

長後被奏事由部內未作回食之由次正

予裝束系送系正為昇真座系上如座指上卿

中文大吏被作可令居候之由予退起下知史

基系今居之先人、豐起座佛御陣後島

辰一之後予中其由於上卿次著哇外中云交九之湯皆與

西川細之次一献少納之信要勸查次二献右少辨

親宗爰上卿被作之二献已前可居粉糰丸

於今若二献粉糰三献可居飯汁物之此儀定

幸也一献粉糰大被畧時事仍予進亦不忌味

盤抄中尊中献被作之依進例為三献之一献可居

粉糰也亦有人教之四献何事有戒之次勸粉糰

著下次三献丸少年系先次居飯汁物著下次

四献予依為四只不亦次如次官人百并記

清在系奉奉作退由持泰見系上卿見

一返給外記如奉捧之立小庭次上卿起

座在弓場付苑人系系先奏之奏了後座

外記在文批定杖近入次百少納云信系給

見泰次右少系早出一仍右老少系給目錄
次上下退出

無形法修子卷因予心苑人長俊然野詣修子中女房

若別若可奏事由次退出

今辰命七朔定宗因梨未合身教事一

今辰命今辰命左隆信太師壹勝

七夜奉見阿保院三宮未進像二世就坐

可成乾之相也感淚難揮

十日甲午晴已刻系院奉雜事兩系外記忠朝中

權少信於之矣被押家勝先院供信

隆職申是自女院被作之權少信即實度賢亮任於信可

可乃宿指先院法信可作下之系又為行中

遠信西領可為日所堂庄可尋沙法之逐電

系實苑為大外記以下文啟衆五六輩系入

賴憲文事十六合撰定一黃昏退出

指遺被末一篇

今辰命新合左基宗右基範持

右福苑尼形等向左尾等十一日乙未終日雨降白仁和寺別墅左尾為防

老尼所房也其次歷覽所一身燭之後為畢

歌合九作家 右家後勝

賢亮信心中蓮華王院不動堂住持信長不可遷中堂院

十二日丙申雨降已別系院 卷終 信正賢亮中法

信事

蓮花王院不動堂住持信長云
於得長壽院之輝近

作云於不動堂者不

可段補至手蓮 花王院之寺設有有限齋勸

心板先仍可被改補 又申蓮華 王院所塔

蓮華王院所塔材木出產散收奉回奉

材木津出產散收奉 作云早損一目更也

皆悉可令勸修由是可治也 又申為約中

遠江國領事 作云如中諸所可有所沙法

福備後守乃行身遠江領事 又作

法華堂造安間事

信程後後退也

之候合事

騎合 尤雅亮 右為賢

元十三高也而彼所之

兵部 閑梨末院

十三日丁酉晴午刻許齋院奏蓮華 王院

領朝 日在齋狀中文 奉持子信下有沙法

傳奏系完中系之類也

又傳奏 尤少系 申系 奉

神文解中候庄監形也
作可勸變右方回一云林

所園下日更作可同形家能登回司中家所行用途事
作可信下進代切程不法殊可有必治進江國日申西系也

皆程假之後齋 蓮 花王院 寶苑 師高 廣第子已下

宣統文書抄

文殿衆五六輩各入各事撰定如例類纂
胡氏又事第二文庫撰了物詣之間不可致

沙法流亦下知不可悉、中皆悉述也

今秋金永所抄事

身觸之後序泰院維似教尋為何所遊儀

也出所之後人人各集如例歌合尼教位賢所

右教位感定右先出尋依勝方、前、又如此

尤歌之時右一切不可付之景在不可付之中

難、亦、以、感、定、歌、於、現、在、左、不、付、之

敦、家、流、之、外、不、歌、之、故、也、人、起、座、以、尤、為

勝、次、有、所、遊、尤、大、將、彼、彈、第、新、大、細、玄、別、當

調、笛、拊、琴、使、北、拍、子、歌、僅、馬、樂、六、角、寧、相、吹、星

實、宗、胡、氏、彈、琵琶、定、能、胡、氏、調、筆、策、雅、賢

胡、氏、竹、歌、矣、教、胡、氏、吹、笛、次、尤、大、將、朗、誦、德、是

拊、琴、使、付、之、六、角、相、公、又、付、之、次、今、根、法、皇、於

簾、中、今、歌、之、所、遊、之、起、旁、入、函、玄、且、是、得

境、之、故、也、堂、上、堂、下、上、下、群、集、依、作、不、可、彼

能、人、又、因、女、房、為、聽、國、泰、入、通、親、胡、氏、一、人

處、從、予、事、未、終、以、前、述、也

歷覽西方小中

十四日戊戌天霽今日不出仕白西京色歷覽之

去子法橋石井順小令人友別木過順

未刻歸早

拾遺被内勅解由小法

馬一足引送慈野先達意候舍方許

十五日己亥天晴早霽院介秋一定入精色屋

卷内難夏示之中乃中入為方也又奏親事等其中心中那

在下目徑高結解奏覽之作之可給順家

兼又伴男沙法之皆可預給平相公未刻

以前不可加減考又法并壹所傳兼送管向

事字中女院一物諸人自有不審之故

始慈野精進

黃昏入慈野精進屋

川色而以親所從小宅雖吳秋依迫降也

先達慈院房阿因梨定宗也若淨衣入之次活水

次出庭次名帶兩段再拜次先達名帶拜中院

次存除別注連立大防次礼拜七一度定宗因梨

精進之乃可任年旁之由示一幸齡七十九德仍

多積積少小部中振宿不便為相勞也小

先達傍一人可相副之由示一人於子有德

子息定徑同始精進一伴定徑依外父

安房守治の性服日教中始精を少許服人從古多病

義範入道 奉乃性服日教之中依每日次

未除服然而重性服之人後古不為之自白河院

泰清之比重服軍被山岳詣之當時院少

共性服又連之重服之則尤甚

尉親感作之然野少共之於性服名

与論之未除服以前之不善事也而先

遠定宗多志除服以宗多都之志服若先

敢不可様お道可之除服之治似有志定

宗之命也是指南道代以彼為先達之棟

梁之故也但明後日為祭日在社所任地所也

於先達名陸不耳心他社奉不可依彼命須

神馬一疋并甲冑色草拵擗類等名日送

然野控別高湛坊許近日在京之故也奉文

昨也以此奉為使殊有感慨之報

于六日庚子天陰朔間大進來臨依梅柳亦

之由入精進屋對面皮身大夏亦不令

故也所望奉本女院少氣多之氣了了所

請之由能之諷諫之

中邪下月平相公使未手相公不送中邪庄下白沙治

不事之時防老沙友書秀乃力建院室之軌

在俗先院庄一寄文六通也奇家寂勝光沙庄一寄文六通也靜賢法中序一

可令作寺家之故也

晚夕礼拜如常七夜有夢如鳥急如律今

十七日幸也自晚雨下辰刻晴今日衆詣日衣

社奉幣一由法僧寬信都於二室前沙法

會梅法華會祈願

社司能成談云予先年於高社奉供養

素紙法華經用八王子例誦經彼時奉

經換一之間所奉習也每日誦讀一

行願至希事也又女房兼道一暗供養

經給他人之妻依夢想事烟大官廣啟

夢伴殊勝之苗座主兼社司成仲名

女房兼信一供養經依差忌中烟大官廣啟衆入可令用沙持經給經也他人如何

早可返烟一中有夢已純也此事奉

紀漸隔然乃後代之美傳化之

院中彼信供養院被始恒例供養一五九西月不足或日不送

之清動也

湯侯之香使鶴卡徑以入房
湯次庄立香使廳下徑以沙流一余日入浴久

永涉厨所中為校立廳時水車園日送陳狀

今未終之為

十八日壬寅晴閑梨兵部日列未皆稱樂於中

入精至屋對面丁又家寬信於未

希笑展之為

十九日癸卯晴鶉鳴出門先黍告田社次黍賀辰

下上為祝中物詣事也為路白冠連急修房

中山房黍詣於現且以喜悅次序畢

系毫信於來依物詣人及不備

亦日甲辰陰少將未陰又指遠彼未

九系明曉為見進為又大意來陰

湯後宗重法師來自去以在系

牛竊一時每度給馬一疋仍治無瓦

勅存例給丁引文粟乞馬一疋系拜飯

慈野詣進為

廿一日乙巳自此日陰氣朝霖今日在後慈野

去七系徑道踏先達定尔園梨香別為友伴

侍七人盛職胡卜能信感作教院息休

盛業景光上下相承百世余人於多好由楊
宗和卯終忘信八端唐制依時於本律及書
養此間兩下英皆念著渡色王子身燭後看
天王寺經号法眼德宿所念佛堂執事送河
育

今夜在夢云卿友三和一大勢大源中源
中抱小兒乃是若若王子死急如律令
希和島回房本二日丙午晴時陰孔祥之後備念佛堂上人
寬敏
法指彌頸刑刀之息中女院女房身作殿子也奉
野

見鳥羽院沙歌像依傳南院作次礼舍利次白尾上條
今夜有郊祥心表母心於雲江德一首日形畫表長
南山行者原如被申別着和泉國府家恩勤雜身上下飽滿
由人已是又國司送雜事
指現
又送經年今日定經於安野除服先達修被其例
二保題等不審雖有思一白信意候之今不知他事

也
在史基景化
定考子
後関今日定考也史基景化乃散恩家他

兼安四年九月廿二日丙午朔間雨降已刻天晴

今日破竹定考

近江國料未難歸之乃
日月空道及乞口也

未刻上鄉三條大納言系議九兵部六南宰相

右大系之後九中年九少年右少年新少卿之

等系集先是大外記類業真人
仰尚卿臣少外記後國忠弘
信遠

大史盛德系遠少史國業行職
成奉基系小系也申刻彼始信

政座事西廊北門之中之內外如常但外記
如此列史著信政座同外記百立本所大史史遜系之

間威繼為座以名著座之大申少年少卿言小系之

座次鼻功當但少年次廳事外記信在若座南上東面而少卿言座有

絕次同史生若座南面當次外記文殿守里今見

官府於外記之加檢察之後守里持序道

印机上次史生九仗官府覽少卿云史生也

本座之後少卿言披見之少卿云見一史生年

系九之置印机上退出一次外記起座之也間

大史史系之即系并作着座上中文系

自元懷中次才取上之九一加換系座頭又加換系

皆道座前即次才下之先九才四投下基系次九才
三投下成界次九才二投下

兼在次九才一次依座以自申又史四人因指起座

一

自下藉於行廊北名以名靴一中文一渡西

廳後自上扇靴皆步芝階今日次音頭外記思以名後

東日渡西廳後相門子中文史列立西廳南

庭東面上新少酒去九少亦右少亦同以列立西北上

上卿若廳之後亦少納言外記史相措出惜

心就版位史四人考九冠立定後同措蒙上宣亦

少納去稱唯徽音次外記史同稱唯為大不待亦

可謂音頭次少酒去亦次亦雜版之臨措之時下藉右

少亦界階之措与外記史同措各雜版昇西

面之少階便着床子自後記名之座定後亦一亦起

座中政申於上卿復座願面即一史立中文讀

於官文立上卿上案亦少酒去聲靴起座日音稱唯座

後音頭外記座中中文史日音可稱唯也而上卿無与案

亦少酒去不聲靴之以前音以稱唯右失礼也其後頭中純中

如次牙二三四名勅仕一起座日措自下藉退亦

左石少亦史二人成掌持經冊管外記史生一人持觀管

位西廳東庭列立版位亦少酒去蒙上宣稱

唯微音雜版昇自南面之西階一若床子大畧

如中文 亦昇階之間史等 不梅唯 雜版昇西面之

小階列立廳西牙一間砌上柱外迴之 史生立門間壇

下當史後一史先趨名上鄉前 至經丹於前机東端

取宜皆還 立本所次九史生所持之硯管又置曰

机西端之間基系持筒紙書小授少個云亦端少個

御書亦 之後相從一史始序立入壁西一次少個云

并共續中一并石基系 一多川習如次才名可石一史九今度

二人同音稱唯進 泰初所先一史如初趨泰檄硯

管還 立本所石史生 持硯管在立可石其名九 置硯管於

壇上九史生所持之官 管又趨泰檄經丹退却

另基系 趨泰并少個云後指指為檄 參書并

筒木屏相從一史趨出徑 本路退 初少次

石大并 今着 造 曹 所 檄 基系同 次上以已下着

朝所 西座上品六角 東座九兵本皆 初 獻 石大并於坤角柱下板壁上九盃

立 威奉和色 退所但取括於發 間大系被皆作 初 獻 史二人進寄酒臺亭 南牙一而九

位座未初 間大系復本座頭亦 泰進公口座未 今信盃之 後基系

降本路授於 史生 初 退却 二 獻 威奉九已相從初

此間 辰粉 熟大 相 西座外 記史名二人 三 獻 九少亦 次才日

此間 撒粉 熟大 辰飯 汁物 四 獻 石少亦 次才日 此間

后餘餘少時友學乃宗各進南庇西來二間中

宴座裝束了由中弁已下起座列立南庇

柱內西上外記史列立東庇南上上以宰相亦降

階於便直所為執者宴座此間右大弁先各儀以下弁少

烟去及外記史亦再拜外記史墮下人上卿有各拜

次若座上卿西面左兵部侍郎南面六角宰相北面初獻

九中亦有監尾次威德才一史北上今飲鈔亞弁并

史外記後回飲監尾乃南面才一人故次系遠才二史取上今飲才一

史係二鈔左少亦三獻鈔少烟次才德鈔以仰飲七

唯知次立若又後著者起座於北面既執上以

各儀亦着束廊外束子西上亦少烟去外記史

若同廊內平座并外記南度次撤宴座數穩座

安一卜下福史基系至各上卿座東廊良角墮下

中穩座御裝束了由次上以以下即以着座

外記史三獻每度亦少烟去勸查次爵家史威德崇儀次弁

作召三為史生即各列南庭再拜束上徑心聽前

過西退功次內純進色諸司若座外記史高座也

下福史基系亦唱平勸一獻一次雅樂發物

音九右各一曲次拈以記次九中年起後在自

不劫在序着東廊平座外記史同著在系遠

一才二史也威德一且又先例必大史覽見系於九中年覽

返治不復奉庭經庭中央退也

未過以下篇之夾見系於杖九中年起庭者穩座

見系史相侵在系即後上口

系上卿良方迴杖之文上卿一覽一返治之後治一依日次史勸在

又惟唯聲中卷一為冠杖退也九中年史必威德威家史色寄酒臺下年九已史

取盃皆史生步制系在九中年亦在著皆南面立

上方史跪是筵端跪皆經亦後上卿良方仁龜岳

白坤深指日上卿指許史梅唯記直受酒門

當盃於胸前後後并又受酒深指在上口

其後按易指起庭東向仁跪若皆記在指指

笏九并不侍已系儀序後右方仁跪系議心

取持盃仁入酒之後只外託史生授已還奉跡人矣

刻多上卿已下退也

宿信通亦三日丁未天霽風靜雲曠比國府已刻著

古木堂畫卷中刻若信通宿初堂醫師相按

夕相元来 横川王子前相寻 之变 纪伊回

所芳之 向乃 療治 下向也者

國日 兼庄 家送 雜事

今夜有 友依 女院 作尋 至常 友花 裁庭 前

又出車 出衣 五兩 立門 外簾 中又 出衣 于常 仍

之 又見 蛇名 乃吉 夢急 如律 令

亦曰 戊中 陰晴 不定 是明 紀信 蓮於 中村 畫卷 右

非 巡仍 水傭 時若 勢多 七度 悉詣 半日 唱馬 亦與

四 度悉 詣不 駕之 去年 沙幸 涉共 始駕 之今 度

時 亦駕 也
尤中 將女 房下 向逢 雄山 口過 北宿 粮新 雜事 回司

兼 庄之 勅之 過 苑也 極修 亦已 多

七 教之 夢皇 大右 之於 乃失 送使 乃是 長者

幸 尤急 如律 令

亦 五日 己酉 去夜 雨降 下天 已晴 於友 代王 子行 里神

樂 給白 米又 給境 飯一 具

宿 陽後 心殊 疑感 應之 甚也 皆悉 着湯 淺入 道堂 石垣 并

廣 庄是 雜事 又宗 幸法 師送 菜子 雜菜

今夜有夢見古廟又通作於左矣裝于米
常甚在夢也又志立堂舍心中之教已通神
亦六日庚戌天執快霖凌晨起湯淺於床背原
畫卷未斜若多寐宿忘哭正上座威院送
雜事乃新哀際不泰彼山送細馬草毛一足
并雜物亦依儲此宿雜事也入夜來臨對面
五角牌尸亦乃門出物也右馬營而彼相訪也可
謂此之也

今夜有夢定經 傲事 影互相又自或人許
道彼右一合烟素你夢想之解如指掌若
悉信不見多想示現又稀今度連了之

叶神 孟頫

亦七日辛亥晴殆如春遊明至發於壇屋畫卷
中刻悉悉切目子行里律樂山宿同社以來
權別當遠增儲宿形并雜多於切目子多書
一切經一月六行上人勅達也如此便信海者
難得而已

狀有者夢中見建春門院右相入道又右馬

一昨夢中物備是三而於現今示現給狀

女院日宮宿子

後園院建春門院之卷籠日在社給社給所奉之

俄夢後之

亦八日壬子晴於三隅海福寺有畫卷浴塩水中斜

宿甲申之夕

若田色湛坊法眼房

亦九日癸丑陰夕時雨屢下於石田一厥色畫卷中斜

若涉鹿湯屋控別南送雜之今日下向山伏多梅

食直下中每夜每入施之至後以後所上人夢如

或子食於山伏不違記畫蓋此後世之資糧也

今夜有夢所元朝卜未梅云明年云茲涉

至大也又予身於院夕亦能要注

亦日甲寅自夜雷雨上下若荒是致信心謀也

了例曙色發詣瀧尾王子奉幣經信表如例

社壇前有一巫女隨可仍里林樂依無傍草以

一人之寐之安養子今就給个度悉詣殊致信

力已是網受也幸甚之於之然隨可畫卷依兩

宿乙亥之夕

下於高原小宅補飢于時雨休雲收申刻

法眼房雜多亦如昨

後園六系町色矣上之

或乃大浦再雲系系於右之乃傷重會事

本口尸大鄉系雲容通親朝長以个五六輩於今在

与場促詩哥之興

海歌更之惜秋畫脂序平絕

亦由哥歌社壇送秋名序

[Faint bleed-through text from the reverse side]

六

六

[Faint bleed-through text from the reverse side]

